国立国語研究所学術情報リポジトリ

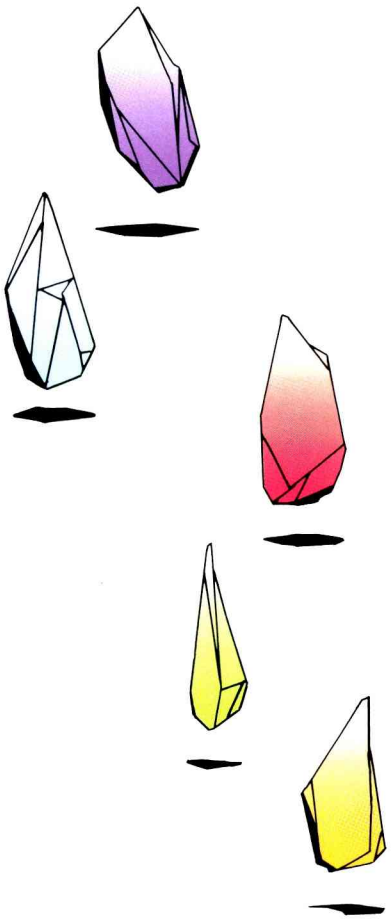
伝えあうことば：1　シナリオ集

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002806

日本語教育映像教材　中級編　関連教材

伝えあうことば

1　シナリオ集



国立国語研究所

日本語教育映像教材　中級編　関連教材

伝えあうことば

1　シナリオ集

国立国語研究所

刊行のことば

国立国語研究所日本語教育センターにおいては，外国人に対する日本語教育に役立てるため，昭和61年度から平成元年度に，ビデオテープ教材『日本語教育映像教材中級編』を作成しましたが，この『日本語教育映像教材　中級編　関連教材　伝えあうことば』のシリーズは，そのビデオ本体を有効に利用するための周辺教材として発行するものです．

この『シナリオ集』は，ビデオ本体に含まれることばと場面状況をおさめたもので，教授者用資料として，また学習者用教材として利用されることを目的としています．

この『シナリオ集』の編集は，次の者が担当しました．

中道真木男（日本語教育センター日本語教育教材開発室長）
中田　智子（日本語教育センター日本語教育教材開発室研究員）

本書が有効な視聴覚教育のための資料として適切に活用されることを期待します．

平成３年２月

国立国語研究所長
水　谷　　修

〈目　次〉

『日本語教育映像教材　中級編』について …… 1
シナリオ　ユニット１　初めて会う人と　――紹介・あいさつ――…… 4
ユニット２　人に何かを頼むとき　――依頼・要求・指示――…… 26
ユニット３　人のことばにこたえて　――承諾・断りと注目表示―― 51
ユニット４　意見の違う人に　――問いかえし・反論――…… 78

『日本語教育映像教材　中級編』について

1．作成の経緯　『日本語教育映像教材　中級編』の本体であるビデオ素材は，昭和61年度から毎年1ユニットずつが制作され，平成元年度に全4ユニットが完成した．

この教材の企画は，国立国語研究所日本語教育教材開発室が担当した．また，所内外の委員による「日本語教育映画等企画協議会」を設け，助言を得た．

企画の関係者は以下の通りである．

◇日本語教育映画等企画協議会委員（所属は在任当時のもの）

［所外委員］

川口義一（早稲田大学）　木村宗男（日本語教育学会）
佐久間まゆみ（筑波大学）　中野泰子（アジア学生文化協会）
丸山敬介（国際教育振興会）　吉岡英幸（東京外国語大学）

［所内委員］

村木新次郎（言語体系研究部）　杉戸清樹（言語行動研究部）
相澤正夫（日本語教育センター）　西原鈴子（日本語教育センター）

◇日本語教育センター関係者（在任当時関係者も含む）

南不二男（日本語教育センター長）
水谷　修（日本語教育センター長）
上野田鶴子（日本語教育指導普及部長）
日向茂男（日本語教育教材開発室長）
中道真木男（日本語教育教材開発室長）
中田智子（日本語教育教材開発室研究員）
清田　潤（日本語教育教材開発室技官）

◇制作　日本シネセル株式会社

◇演出　前田直明（株式会社エイビス）

2．概要　『日本語教育映像教材　中級編』は，日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための中級用映像教材で，ビデオテープに録画された映像素材がその本体となっている．全体は4ユニットから成り，それぞれのユニットは，5分程度の長さのセグメント6つで構成されている．

制作は日本シネセル株式会社によって行われ，市販品として株式会社インターコミュニケーションから発売されている．

価格等は以下の通りである．

◇販売価格（消費税別．平成３年１月現在）

	ＶＴＲ（3/4インチ）	ＶＴＲ（1/2インチ）
各セグメント	37,000円	29,500円
各ユニット	95,000円	74,000円

（このほか，16ﾐﾘﾌｨﾙﾑによる提供も可能である）

◇発売元　株式会社インターコミュニケーション

〒107 東京都港区赤坂 1−9−15

Tel 03−3589−4530　FAX 03−3589−4583

3．内容　国立国語研究所が以前に制作した『日本語教育映画　基礎編』（全30巻）が基本文型の学習を目的としていたのに対して，この『中級編』は，学習者のコミュニケーション能力を高める学習に役立てるために，ことばの働きや聞き手に対する働きかけといった各種の発話機能をテーマとして構成されている．

初級段階で習得した基本文型を実際の場面で使用するためには，コミュニケーションの相手によって，またその場の状況によって，同じことを言うために使えるさまざまな表現の中から最も適当なものを選択し，それを適切なやり方で使用する訓練が必要となる．『中級編』では，ある一つの内容を表現するために，どんな言語形式のバリエーションがあり，どんな場面で使うのが適当か，逆に，ある表現の形式は，どんなことを言うためにどんな場面で使えるか，を教えるためのさまざまな例を示している．また，それらの表現手段は，言語形式だけでなく，声の調子や顔の表情，間のとり方など，実際のコミュニケーションで用いられるいろいろな方策も含めて，映像で描かれている．これらにより，場面に応じたことばの選択，適切な言語随伴行動などの例を学習者に提示することができ，学習者の総合的なコミュニケーション能力を育成するための素材として利用できることが意図されている．

各ユニットに含まれるセグメントの内容は，以下の通りである．

ユニット　1　初めて会う人と　——紹介・あいさつ——

セグメント　1　自己紹介をする　——会社の歓迎会で——

セグメント　2　人を紹介する　——訪問先の応接室で——

セグメント　3　友人に出会う　——喫茶店で——

セグメント　4　面会の約束をする　——電話で——

セグメント　5　道をきく　——交番で——

セグメント　6　会社を訪問する　——受付と応接室で——

ユニット　2　人に何かを頼むとき　　——依頼・要求・指示——

セグメント 7　届出をする　　——市役所で——

セグメント 8　買物をする　　——デパートで——

セグメント 9　打合せをする　　——出版社で——

セグメント 10　お願いをする　　——大学で——

セグメント 11　手伝いを頼む　　——家庭で——

セグメント 12　友達を誘う　　——友達の家で——

ユニット　3　人のことばにこたえて　　——承諾・断りと注目表示——

セグメント 13　お見合いを勧められる

セグメント 14　お見合いをする

セグメント 15　提案をする

セグメント 16　仲人を頼む

セグメント 17　結婚式場を決める

セグメント 18　スピーチを頼む

ユニット　4　意見の違う人に　　——問いかえし・反論——

セグメント 19　イベントを提案する

セグメント 20　相談をまとめる

セグメント 21　打ち合わせをする

セグメント 22　交渉をする

セグメント 23　会場の準備をする

セグメント 24　討論をする

これらの各ユニットは，それぞれの内容を追って順次学習することもできるが，主な使用方法としては，学習者の必要に応じて，4つのユニット全体から適当な場面を抽出し，組み合わせて使用することを想定して作られている．そのための参考資料として，この『シナリオ集』をはじめとする各種資料が順次刊行される予定であるので，それらもあわせてご利用いただきたい．

4．『シナリオ集』について

この『シナリオ集』は，各セグメントに含まれるせりふを収録し，場面の切れ目や状況を示したものである．各ユニットのはじめに，そのユニットの内容とそのユニットで主な学習項目として扱われる発話機能とについての簡単な説明があり，各セグメントのはじめには，そのセグメントの登場人物の一覧，各場面のはじめに，セグメントと場面の番号，各せりふの前に文番号を示している．この文番号は，各セグメントごとの通し番号になっている．

ユニット　1

初めて会う人と
―紹介・あいさつ―

このユニットでは，初めて会った人との話し方，たとえば自己紹介をしたり，共通の話題を出して話を円滑にすすめたりするやり方の例が示されている．初対面のあいさつや辞去のことばのような決まり文句的な表現が実際にどのように使われているのかが，場面の文脈の中で提示されている．

主人公が商事会社の社員という設定で，場面設定はビジネス関係が多くなっているが，その中には，名刺の交換，得意先の訪問，電話での話し方など，学習者が日本の社会に出る場合に参考になる場面が含まれている．

情報のやりとりをすることも，学習項目の一つになっている．話を進める上での基盤づくりとして相手のことをたずねたり，実質的にいろいろな情報を得たりと，その目的は場合によって様々だが，このユニットには友人を相手に仕事のことをたずねたり，取り引き先に電話をして道順を聞いたりする例が入っている．

さらに，そうした個々の表現や手順を組み合わせて，あるまとまりを持った談話の構成を学習するという利用法も可能である．たとえば自己紹介での情報のもりこみ方（セグメント１）や，頼みごとをする際の前置き，きり出し方，きりあげ方（セグメント２）などを見ることができる．

セグメント　1　**自己紹介をする**　　——会社の歓迎会で——

◇登場人物　　中村　弘（貿易会社社員，営業課主任，男性，歓迎会の司会）
鈴木幸男（新入社員，男性）
大木芳夫（新入社員，男性）
福田春子（新入社員，女性）
ジャック・ジョーンズ（新入社員，イギリス人，男性）
機械部部長（男性）
営業課長（男性）
その他の先輩社員

◇場　面　　①　小料理屋の座敷．港商事機械部営業課の新入社員歓迎会．

【セグメント１　場面①】

小料理屋の座敷．夕刻．港商事機械部営業課の新入社員歓迎会．

（部長が立って，あいさつをしている）

部　長　-001 会社の期待を担った皆さんです．-002 どうか精一杯がんばってください．-003 以上，歓迎のあいさつとします．　-004 さて，きょうは楽しく飲みましょう．

（部長，座る．司会の中村，立ち上がる）

中　村　-005 ありがとうございました．-006 次に，新しい社員の皆さんに簡単に自己紹介をしていただきましょう．-007 それでは，鈴木君からお願いします．

鈴　木　-008 はい．

（鈴木，立ち上がって，やや緊張気味にしゃべり出す）

鈴　木　-009 東上大学経済学部を今年の春卒業いたしまして，このたび，こちらに入社いたしました鈴木幸男です．-010 えー，子供のころから，外国にあこがれておりましたので，えー，この会社の一員となることができまして，大変喜んでおります．-011 大学時代は，ボクシング部におりましたので，体は十分にきたえてありますので，上司や先輩の方々のご指導をいただきまして，仕事をばりばりやっていきたいと思っております．-012 どうぞよろしくお願いいたします．

（頭を下げて鈴木，座る．ジョーンズ，立ち上がる）

ジョーンズ -013 イギリスのサセックスからまいりました，ジャック・ジョーンズです．-014 ただ今，２５歳で，独身です．-015 イギリスでは，シティーの証券会社におりました．-016 以前から日本に関心を持っており，というより，非常に強い関心を持たざるを得ませんでしたので，こんど，こちらの会社に入社できましたことは幸いでした．-017 日本とヨーロッパ，そして世界への窓口としてがんばっていきたいと思います．

（ジョーンズ，頭を下げて，いきなり座る．大木，あわてて立ち上がる）

大　木　-018 えー，えーと，大木芳夫です．-019 あー，大学は，えー，南武大学法学部を卒業しました．-020 えー，よろしくお願いします．

（大木，ぺこりと頭を下げて座る．福田，立ち上がる）

福　田　-021 福田春子と申します．-022 京西大学商学部を卒業いたしました．-023 大学３年の夏休みに，ホームステイでアメリカにまいりまして，その時は，英語にだいぶ苦労いたしました．-024 大学では，貿易実務のコースを取っておりましたので，その知識をすこしでもお役に立てることができればと思っております．-025 仕事のことは，まだ何も分かりませんが，どうぞよろしくお願いいたします．

（ビールが運ばれてくる．部長，ビールの杯を受ける）

課　長　-026 （ビールの杯を受けながら）どうも．

中　村　-027 それでは，ビールもまいりましたので，乾杯をしたいと思います．-028 三木課長，音頭をお願いいたします．

（課長，うなずいて立ち上がる）

課　長　-029 では，御指名によりまして，わたくしが乾杯の音頭をとらせていただきます．-030 港商事のますますの発展と，新入社員の諸君の御活躍を祈りまして，乾杯！

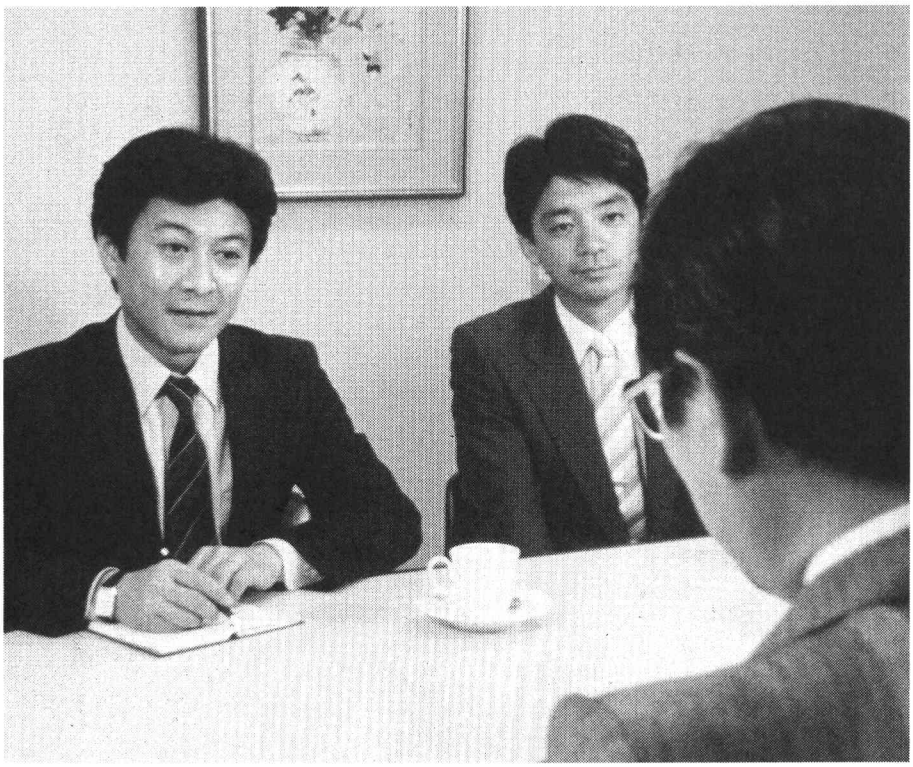
一　同　-031 乾杯！（拍手）

セグメント　2　**人を紹介する**

——訪問先の応接室で——

◇登場人物　　中村　弘（貿易会社社員，男性，営業主任）
鈴木幸男（貿易会社新入社員，男性）
田中武彦（中村の得意先の客，男性）

◇場　面　①　田中の会社，東京貿易の応接室．中村と鈴木，田中を訪ねて来ている．
②　同じ応接室．田中，電話をかける．
③　同じ応接室．中村，鈴木，田中に礼を言い，帰る．



【セグメント2　場面①】

田中の会社，東京貿易の応接室．中村と鈴木，田中を訪ねて来て待っている．

（コーヒーが中村と鈴木の前に出ている．ドアが開いて，田中が入ってくる）

田　中　-001 やあ，お待たせしました．

（中村，鈴木，立ち上がる）

中　村　-002 先日は，どうもありがとうございました．

田　中　-003 いやいや，こちらこそ．

中　村　-004 （鈴木の方を手で示して）こちらこんど入社した鈴木です．

鈴　木　-005 はじめまして．　-006 鈴木幸男と申します．（両手で名刺を出す）

田　中　-007 はじめまして．　-008 田中です．

（田中も名刺を出す．鈴木，両手で名刺を受ける）

鈴　木　-009 よろしくお願いいたします．

田　中　-010 こちらこそよろしく．　-011 さあ，どうぞ．（手でいすの方を示す）

中　村　-012 （鈴木の方を見て）鈴木は，田中さんと同じ東上大学の卒業です．

田　中　-013 （鈴木に）そうですか．　-014 学部は？

鈴　木　-015 あっ，経済学部です．

田　中　-016 ほう，経済学部ですか．　-017 ぼくも経済学部ですよ．　-018 佐藤先生はまだおられますか．

鈴　木　-019 はい．　-020 今，主任教授をなさっています．

田　中　-021 ああ，そうですか．　-022 先生は，お元気ですか．

鈴　木　-023 はい，とてもお元気です．　-024 わたくしは，四年生の時に佐藤先生のゼミをとりました．

田　中　-025 そうですか．　-026 ぼくが学生のころは，佐藤先生は講師で，われわれ学生の相談相手になっていただいたんですよ．　-027 われわれ学生には，とてもいい先生でした．　-028 そうですか．　-029 佐藤先生のゼミを……．　-030 ところで，社会人になって，どうですか．

鈴　木　-031 はあ，分からないことが多くて，とまどっております．

田　中　-032 中村さんのようないい先輩がいるから，勉強するには，とてもいいんじゃないですか．

鈴　木　-033 はい，いろいろ教えてもらっております．

田　中　-034 まっ，がんばってください．

鈴　木　-035 どうもありがとうございます．

（田中，中村の方を向く）

中　村　-036 実は，本日，伺いましたのは……，先日の田中さんのお話にありました池田製作所の件なんですが……．　-037 さっそくで恐縮ですが，できましたら，どなたか適当な方を御紹介いただけないかと思いまして……．

田　中　-038 ああ，けっこうですよ．　-039 先方の，あのう，池田製作所の方にぼくの友人で製造部長をしている岸本というのがいます．　-040 ぼくとは大学は違うんですが，高校のころからの友達なんですよ．　-041 その人を御紹介しましょう．　-042 そうですね……．　-043 今，電話してみましょうか．

中　村　-044 そうですか．　-045 すみません．　-046 よろしくお願いします．

田　中　-047 それでは，ちょっと待ってくださいよ．

【セグメント 2　場面②】

田中の会社，東京貿易の応接室．中村と鈴木，田中を訪ねてきている．

（田中，胸ポケットから手帳を取り出しながら立ち上がり，手帳を開いて電話番号を調べ，電話をかける）

田　中　-048 あっ，もしもし，製造部長の岸本さんいらっしゃいますか．　-049 ……あっ，わたくし，岸本さんの友人の田中です．　-050 ……あっ，田中です．　-051 あっ，この間は，どうも．　-052 ……うん，あっ，そうか．（笑う）-053 ああ，実はねえ，きょうは，君にちょっと紹介したい人がいてね．　-054 ……うーん，機械の部品，特にセンサーなんだが，その輸入と販売をやっていらっしゃる会社の方なんだよ．　-055 ……うん，港商事というんだ．　-056 君のところにも何かと役立つんじゃないかと思って．-057 ……そうか．-058 それじゃあ，よろしく頼むよ．　-059 うん，会う日取りは……，ちょっと待ってくれよ．　-060 （中村に）いつごろがいいですか．

中　村　-061 （手帳を見て）来週は，いかがでしょうか．

田　中　-062 来週は，どうかな．　-063 ……うん，前半はだめ．　-064 ……ああ，そうか．　-065 ……それじゃあ，直接，君のところへ電話してもらうようにしようか．　-066 うん，……水曜日ね．　-067 うん，分かった．　-068 機械部の中村さんだ．　-069 それじゃ，よろしく．　-070 じゃあ，また．（電話を切る）

【セグメント2　場面③】

田中の会社，東京貿易の応接室．

（田中，電話を終わり，テーブルに戻る．中村，鈴木，立ち上がる）

中　村　-071 どうもありがとうございました．

田　中　-072 （座りながら）やっ，お聞きのとおりです．-073 来週の水曜日に電話してください．-074 電話番号は６２４の５７５８です．

中　村　-075 はい，分かりました．-076 （電話番号をメモしてから）製造部の岸本部長ですね．

田　中　-077 そうです．

中　村　-078 （メモをしてから）では，そのようにいたします．-079 それでは，お忙しいようですから，これで失礼いたします．-080 （下に置いてある紙袋の方へ目をやる）あっ，それから，これ，ほんのつまらないものですが．（手みやげを渡そうとする）

田　中　-081 （受け取らず）あっ，いやいや，そんな気を使っていただかなくても．

中　村　-082 いや，ほんの気持ちですから．（なお渡そうとする）

田　中　-083 そうですか．-084 それじゃあ，遠慮なくいただきます．-085 どうも．（手みやげを受け取り，脇のいすに置く）

（中村，鈴木，立ち上がる）

中　村　-086 それでは，これで失礼します．

田　中　-087 あっ．（立ち上がる）

中　村　-088 どうもありがとうございました．

鈴　木　-089 失礼いたします．

田　中　-090 失礼します．-091 さあ．

（中村，鈴木を促す．田中，先に立って，中村，鈴木の順で部屋を出ていく）

セグメント　3　**友人に出会う**

——喫茶店で——

◇登場人物　　鈴木幸男（貿易会社新入社員，男性）
福田春子（鈴木の同僚の新入社員，女性）
小山一郎（鈴木の友達，銀行の新入社員，男性）
喫茶店のウェイトレス

◇場　面　①　昼休み．会社近くの喫茶店．鈴木，福田，コーヒーを飲んでいる．
②　同じ喫茶店．鈴木の友人，小山，入ってきて，鈴木，福田と話す．



【セグメント3　場面①】

昼休み．会社近くの喫茶店．

（鈴木，福田，コーヒーを飲んでいる）

福　田　-001 会社まわりの仕事って，大変でしょう．

鈴　木　-002 うん，だいぶ慣れてきたけど，初めのうちは，あいさつとか，名刺を配るだけでね……．

福　田　-003 中村さんが言ってましたよ，初めのころは，いろいろ神経を使うことが多いからって．

鈴　木　-004 うん，初めのうちは，何を言ったらいいか分からないし，言葉使いも学生のころと違うんで，あいさつもうまくいかなくてね．

福　田　-005 そうね．　-006 わたしなんかも，つい，学生のころの言葉が出てしまうわ．

鈴　木　-007 あっ，福田さんでも，そうかな．

福　田　-008 この間も，「あたし」って，課長の前で言って，変な顔されちゃったわ．

鈴　木　-009 課長はなかなか神経が細かいし，言葉にはうるさいからね．

福　田　-010 （急にあらたまって）わたくしどもには，とてもよい勉強になると存じます．

鈴　木　-011 でも，慣れないうちはねー．

福　田　-012 （鈴木の言葉をさえぎって）習うより慣れろ，ということでございましょうね．

【セグメント3　場面②】

昼休み．会社近くの喫茶店．

（鈴木，福田，コーヒーを飲んでいる）

ウェイトレス　-013　いらっしゃいませ．

（鈴木の友人，小山が入ってくる．鈴木，うしろ姿を見て，声をかける）

鈴　木　-014 おい，小山．

小　山　-015 やあ．　-016 ひさしぶりだな．

鈴　木　-017 お前，元気そうじゃないか．

小　山　-018 ああ．

鈴　木　-019 まあ，座れよ．

小　山　-020 （少し小さな声で）いいのか．

鈴　木　-021 あっ，そうだ．　-022 （福田に向かって）かまいませんか．

福　田　-023 ええ，どうぞ．　-024 じゃ，わたくし，失礼します．

鈴　木　-025 あっ，いやいや，もし，よかったら，いっしょにどうですか．　-026 こちら，ぼくの大学時代の友達の小山です．

小　山　-027 あっ，どうも．　-028 小山です．

福　田　-029 わたくし，鈴木さんと同じ会社の福田です．

鈴　木　-030 福田さんも，新入社員でね．

小　山　-031 そうですか．

（ウェイトレス，テーブルにやってくる）

ウェイトレス　-032 何になさいますか．

小　山　-033 えーと，コーヒーください．

ウェイトレス　-034 アイスですか，ホットですか．

小　山　-035 ホット．

ウェイトレス　-036 ホットでございますね．（去る）

鈴　木　-037 （福田の方を向いて）小山は，城北銀行に就職したんですよ．

福　田　-038 あら，そうですか．　-039 わたくしの友達にも銀行に入った人がいるんですけど，仕事が大変だそうですね．

小　山　-040 直接，お金を扱う部署は大変らしいんですけど，ぼくは調査部ですから，なんとなく大学の延長のようなところがあって，気楽にやっています．

鈴　木　-041 残業なんか多いのかい？

小　山　-042 いやあ，あまりないな．

鈴　木　-043 うーん．

（ウェイトレス，コーヒーを持ってくる）

ウェイトレス　-044 お待たせいたしました．（コーヒーを置いて，去る）

鈴　木　-045 で，今，何やってんの？

小　山　-046 為替の方だよ．

鈴　木　-047 ほう一．

福　田　-048 為替のお仕事は，大変でしょうね．

小　山　-049 ぼくのところは　そうでもないですよ．　-050 コンピュータから出てきたデータをいくつか組み合わせて，またコンピュータに入れたり，その報告書を作ったり，まあ，実際の判断は上の方がするわけで，その資料作りですよ．

鈴　木　-051 はあー，毎日，出歩いているおれの方とは，だいぶ違うな．

小　山　-052 でもね，一日中，部屋の中にいると，外を飛びまわっている人がうらやましいよ．

鈴　木　-053 そうかな……．　-054 お前なんか，お客さん相手の仕事はつとまらないぜ．

小　山　-055 それもそうだ．（二人，笑う）

福　田　-056 どちらにしても大変ですね．

鈴　木　-057 まっ，仕事だから．　-058 （時計を見る）あっ，そろそろ戻らなきゃ．　-059 午後から，ちょっとお得意さんのところへ行く約束があるんだ．

小　山　-060 じゃ，またそのうちに．

鈴　木　-061 うん．　-062 そのうちに一杯やろうか．

小　山　-063 そうだな．

鈴　木　-064 うん．　-065 （福田を促して）じゃ．

福　田　-066 えっ．

（3人，レジのところへ来て，お金を払う）

小　山　-067 コーヒーね．

福　田　-068 どうも．

ウェイトレス　-069 はい．

鈴　木　-070 ごちそうさま．

ウェイトレス　-071 ありがとうございました．

（鈴木，福田，小山，喫茶店の外へ出る）

福　田　-072 それでは，失礼します．

小　山　-073 失礼します．

鈴　木　-074 そのうち連絡するよ．

小　山　-075 うん，じゃあ．

鈴　木　-076 それじゃ．

（鈴木，福田と小山，喫茶店の前で別れる）

セグメント　4　**面会の約束をする**　　——電話で——

◇登場人物　　中村　弘（貿易会社社員，営業主任，男性）
鈴木幸男（同新入社員，男性）
その他の社員
池田製作所交換手（声のみ．女性）

◇場　面　①　港商事機械部営業課の室内．中村，池田製作所の岸本に電話をかけ，面会の約束をする．
②　同室内．中村，鈴木に指示をする．
③　同室内．鈴木，池田製作所に電話をかけ，道順をきく．
④　同室内．鈴木，電話できいた道順に従って地図をかく．



【セグメント 4　場面①】

港商事機械部営業課の室内．

（社員それぞれ，仕事をしている．中村，電話をかけている）

中　村　-001 岸本部長でいらっしゃいますか．-002 ……初めてお電話いたします．-003 港商事の中村と申します．-004 大変恐縮ですが，実は，先日，東京貿易の田中さんに御紹介いただきまして……．-005 それで，本日，お電話をさしあげて，お目にかかる日を決めることになっておりましたので．-006 ……ああ，きょうがよろしいですか．-007 ……では，午後2時半では，いかがでしょうか．-008 ……あっ，そうですか．-009 お忙しいところ，誠に恐れ入りますが．-010 ……わたくしと，わたくしの課の鈴木がそちらに伺います．-011 では，後ほど．-012 ごめんくださいませ．

【セグメント4　場面②】

港商事機械部営業課の室内．中村，電話を終わる．

中　村　-013 （鈴木に）ああ，鈴木君．

鈴　木　-014 はいっ．

中　村　-015 先日，田中さんに御紹介いただいた池田製作所の岸本さんだがね，2時半にお目にかかることになったよ．

鈴　木　-016 はい，分かりました．-017 それで，あのう，何を用意しましょうか．

中　村　-018 ひとまず，会社の概要と製品のカタログを用意してくれ．

鈴　木　-019 はいっ．

中　村　-020 ああ，それから，道順を調べておいてくれないか．

鈴　木　-021 はい．-022 ……あのう，先方の電話番号を教えていただけますか．

中　村　-023 ああ．-024 （電話番号を書いたメモ用紙を渡して）はいっ．

【セグメント4　場面③】

港商事機械部営業課の室内．

（鈴木，資料をそろえるために立ち上がって，ロッカーのところへ行く．自分の席に戻って，資料を紙袋にしまい，メモを用意して，電話をする）

電話の声（女性）　-025 はい，こちら，池田製作所でございます．

鈴　木　-026 あっ，あのう，そちらに伺う場合のですね，道順を教えていただけないでしょうか．

声　-027 お車でしょうか．

鈴　木　-028 いえ，電車で行きたいんですが…….

声　-029 電車でしたら，地下鉄を御利用いただきまして，（鈴木，メモを取る）都営浅草線の江戸橋か，東西線の日本橋で降りていただきます．-030 江戸橋と日本橋は，地下道でつながっておりますので，日本橋寄りではなく，江戸橋寄りのAの4の出口から地上に出ていただきます．

鈴　木　-031 Aの4の出口ですね．

声　-032 はいっ，さようでございます．-033 地上に出まして，そのままっすぐいらっしゃいますと，大きな十字路に出ます．-034 そこをまっすぐいらっしゃいますと，橋があります．-035 上は高速道路が走っています．-036 橋を渡りますと，ふたたび大きな十字路がありますので，そこを渡りまして，右へ曲がります．-037 そこから三本めの通りを左に曲がりまして，四つ目の通りの右角に小倉ビルというビルがございます．-038 その三階が当社の受付になっております．

鈴　木　-039 あのう，ビルの名前をもう一度お願いします．

声　-040 小倉ビルでございます．

鈴　木　-041 はい．　-042 それから，そちらの住所を……．

声　-043 たいへん失礼いたしました．　-044 中央区日本橋小舟町６の６でございます．

鈴　木　-045 どうもありがとうございました．

声　-046 よろしくお願い致します．

【セグメント４　場面④】

地図をかく鈴木の手元．

鈴木，電話で取ったメモに合わせて，手書きの地図をかく．完成した地図を確認する手元にあわせて，電話の声が重なる．

電話の声（女性）　-047 電車でしたら，地下鉄を御利用いただきまして，都営浅草線の江戸橋か，東西線の日本橋で降りていただきます．

-048 江戸橋と日本橋は，地下道でつながっておりますので，日本橋寄りではなく，江戸橋寄りのＡの４の出口から地上に出ていただきます．

-049 地上に出まして，そのままままっすぐいらっしゃいますと，大きな十字路に出ます．

-050 そこをまっすぐいらっしゃいますと，橋があります．

-051 上は高速道路が走っています．

-052 橋を渡りますと，ふたたび大きな十字路がありますので，そこを渡りまして，右へ曲がります．

-053 そこから三本めの通りを左に曲がりまして，四つ目の通りの右角に小倉ビルというビルがございます．

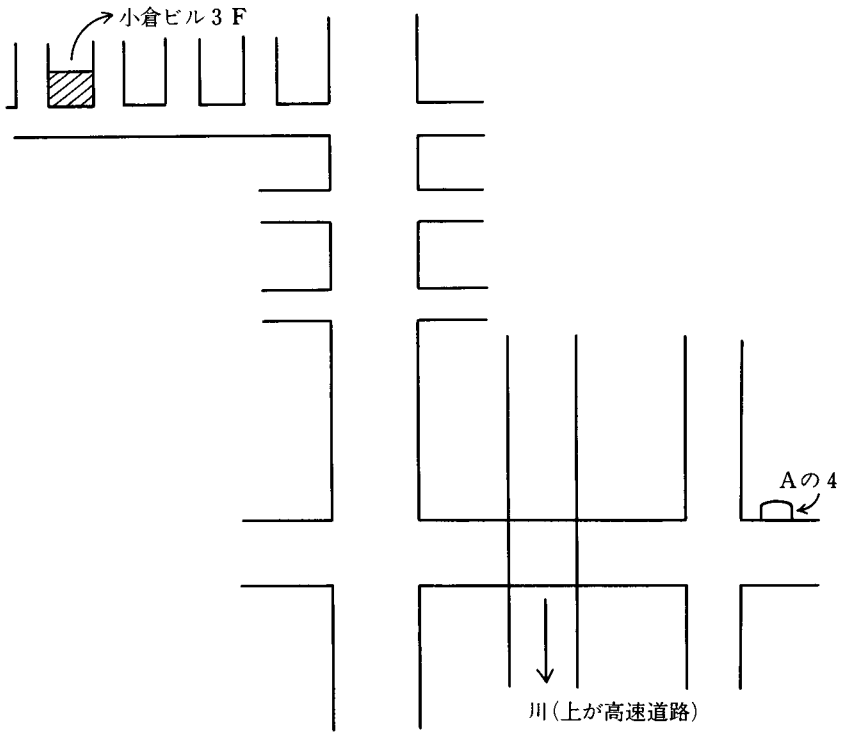
-054 その三階が当社の受付になっております．

セグメント　5　**道をきく**

——交番で——

◇登場人物　　中村　弘（貿易会社社員，営業主任，男性）
鈴木幸男（同新入社員，男性）
通行人（男性）
警官（男性）

◇場　面　①　地下鉄東西線日本橋駅の地下道から，地上に出て，日本橋付近へ．
中村，鈴木，池田製作所を訪ねる途中，道に迷う．
②　日本橋付近．中村，鈴木，道に迷って，通行人に尋ねる．
③　日本橋付近の交番．中村，鈴木，道をききにくる．
④　中村，鈴木，警官の説明と地図により，池田製作所へ．



【セグメント5　場面①】

地下鉄東西線日本橋駅の地下道.

（中村，鈴木，歩いてくる．鈴木，Aの4の出口を見つける）

鈴　木　-001 中村さん，こちらの出口です.

中　村　-002 あっ，そうか.

（二人，階段をのぼり，通りに出る．出口からは，歩道が左右にのびている）

鈴　木　-003 えーと，まっすぐっていうと…….

中　村　-004 まっすぐと言ったんだね.

鈴　木　-005 はい.

（鈴木，歩きながら，辺りを見回す．出口の近くに右へ曲がる通りがある）

鈴　木　-006 あっ，こっちじゃないでしょうか.　-007 向こうに橋と高速道路が見えます.

中　村　-008 うーん.

鈴　木　-009 はいっ.

（二人，そちらへ向かって歩き，橋を渡り，次の比較的大きな十字路を右に曲がる）

中　村　-010 おい，ちょっとおかしいぞ.

鈴　木　-011 はあ.

中　村　-012 あれが三越だし，そこは日本橋だろう.

鈴　木　-013 ええ.

鈴　木　-014 （手書きの地図と見くらべながら）そうですねー.　-015 変ですね.

中　村　-016 おかしいなあ.

（二人，日本橋付近に来る）

鈴　木　-017 やあー.　-018 困ったなあ.

中　村　-019 うーん，違うなあ.

鈴　木　-020 ええ.

【セグメント5　場面②】

日本橋付近.

（中村，鈴木，道に迷っている．鈴木，橋を渡ってくる男性を見て，近づく）

鈴　木　-021 すみません．　-022 あのう，日本橋小舟町というのをご存じありませんか.

通行人　-023 さあ，ちょっとわかりませんね．　-024 ああ，（橋の向こうの交番を指さして）あそこに交番があるから，あそこで聞かれたら…….

鈴　木　-025 はい，どうもありがとうございました.

【セグメント5　場面③】

日本橋付近の交番.

（警官が立っている．中村，鈴木，道をききにくる）

鈴　木　-026 すみません，あのう，日本橋小舟町6の6，小倉ビルへは，どう行ったらいいんでしょうか.

警　官　-027 日本橋小舟町？

鈴　木　-028 （手書きの地図を見ながら）ええ.

警　官　-029 （その地図をのぞきこんで）この地図のとおりでしょう.

鈴　木　-030 えっ．　-031 はっ.

（警官，そばにある案内板のところへ行く．鈴木，中村，あとに続く）

警　官　-032 えー，今，ここにいるんですよ．　-033 で，この橋を渡って，この十字路を右へ曲がって，二百メートルぐらい行くと，上に高速道路が通った広い通りにぶつかるから，その通りを渡ると，この地図のここになるんですよ．　-034 あとは，地図のとおり.

鈴　木　-035 …….

警　官　-036 あーっ，地下鉄の日本橋で降りたんでしょう.

鈴　木　-037 ええ，地下鉄の日本橋で降りて，Aの4の出口を出たんです.

警　官　-038 江戸橋で降りると，この地図のとおり．　-039 （画面，駅の地下道の案内板に変わる）駅は地下道でつながっているけれども，両方の駅にAの1からAの4までの出口があるから.（再び，交番前の画面になる）

鈴　木　-040 あっ，そうですか．　-041 どうもありがとうございました.

警　官　-042 いえ.

（二人，日本橋を渡っていく）

【セグメント5　場面④】

警官の説明と電話の声に従って，道順が展開する．

（十字路を渡る鈴木と中村）

警官の声　-043 この橋を渡って，……この十字路を右へ曲がって，二百メートルぐらい行くと，……

鈴　木　-044 ここをまっすぐです．

（高速道路が見える）

警官の声　-045 上に高速道路が通った広い通りにぶつかるから，その通りを渡ると，この地図のここになるんですよ．

鈴　木　-046 あっ，この高速道路ですね．

中　村　-047 うーん．

（二人，二本目の通りを越える．三本目の通りの手前に来る）

電話の声（女性）　-048 そこから三本めの通りを左に曲がりまして，……

鈴　木　-049 ここを左です．

（二本目，そして三本目の通りを通過する二人）

電話の声　-050 四つ目の通りの右角に小倉ビルというビルがございます．

鈴　木　-051 あっ，ここです．　-052 ありました．

中　村　-053 そうか……．

（小倉ビルに入っていく二人）



セグメント　6　**会社を訪問する**　　――受付と応接室で――

◇登場人物　　中村　弘（貿易会社社員，営業主任，男性）
鈴木幸男（同新入社員，男性）
岸本智明（機械メーカー部長，男性）
機械メーカー受付（女性）
女子事務員

◇場　面　　①　池田製作所の受付．中村，鈴木，訪ねてきて応接室に通される．
②　池田製作所の応接室．中村と鈴木，岸本に面会する．

【セグメント 6　場面①】

池田製作所の受付．

（中村と鈴木，受付に近づく．中村，受付の女性に声をかける）

中　村　-001 すみません．

受　付　-002 （立ち上がって）いらっしゃいませ．

中　村　-003 わたくし，港商事の中村ですが，岸本部長にお目にかかりたいのですが…….

受　付　-004 お約束でございますか．

中　村　-005 ええ，2時半のお約束をいただいております．

（受付，机の上の表に目をやる）

受　付　-006 大変失礼いたしました．-007 少々お待ちください．（座って電話をかける）-008 岸本部長でいらっしゃいますか．-009 受付ですが，ただ今，港商事の中村様がお見えになっています．-010 ……はい，第一応接室があいております．-011 ……はい，かしこまりました．（電話を置いて，立ち上がる）-012 大変お待たせいたしました．-013 こちらへどうぞ．

（受付，中村と鈴木を応接室に案内する）

受　付　-014 すぐ参りますので，少々，こちらでお待ちください．

中　村　-015 どうも．

鈴　木　-016 どうも．（軽く頭を下げる）

（受付，去る）

中　村　-017 資料を……．

鈴　木　-018 あっ，はい（資料の入った紙袋を出す）．

（女子事務員，お茶を持って応接室に入ってくる）

女子事務員　-019 失礼いたします．

鈴　木　-020 あっ，どうも．

女子事務員　-021 （お茶を中村の前に置いて）どうぞ．

中　村　-022 あっ，どうも．

女子事務員　-023 （お茶を鈴木の前に置いて）どうぞ．

鈴　木　-024 あっ．

（女子事務員，目礼して出ていく）

【セグメント6　場面②】

池田製作所の応接室．

（中村，鈴木，待っている．岸本が現れる）

岸　本　-025 やっ，どうも，大変お待たせいたしました．

（中村，鈴木，立ち上がる）

中　村　-026 はじめまして．　-027 わたくし，港商事の中村と申します．

（中村，鈴木，両手で名刺を差し出す．岸本も名刺を出す）

岸　本　-028 あっ，どうも．　-029 さあ，どうぞ．

中　村　-030 あっ，どうも．

岸　本　-031 さあ，どうぞ．

鈴　木　-032 はいっ，ちょうだいします．

岸　本　-033 （手でいすを示して）さあ，どうぞ．

中　村，鈴　木　-034 あっ，はいっ（座る）．

中　村　-035 きょうは，お忙しいところを，お伺いしまして…….

岸　本　-036 いやいや，先日，田中さんから電話をもらいましたよ.

中　村　-037 はい，田中さんに，なんとかこちら様を御紹介いただきたいとお願いいたしましたもので…….

（岸本，うなずく）

中　村　-038 田中さんとは，高校時代からのお友達と伺いました.

岸　本　-039 そうなんですよ. -040 高校のときからのつきあいですから，かれこれ，ざっと３０年になりますかな. -041 （笑って）まっ，悪友ですな.

（笑いながら中村，鈴木うなずく）

中　村　-042 田中さんには仕事の上でも，個人的にもいろいろお世話になっております.

岸　本　-043 （うなずいて）ほう.

（中村，鈴木の方を向く．会社概要を受け取り，岸本に見せる）

中　村　-044 さっそくですが，わたくしどもの会社は，長年，繊維を中心に扱ってまいりました貿易会社でございます.

岸　本　-045 （会社概要を見ながら）ほう……. -046 創業，６０年ですか.
-047 大変立派な会社ですね.

中　村　-048 いえ，まあ，なんとかやってきた会社ですが，数年前から，センサーの輸入と国内販売を始めております.

岸　本　-049 ほう. -050 センサーと言いますと…….

中　村　-051 はい，光学センサーが中心となっております. -052 ……このたび，アメリカのスミス＆スミス社の代理店となりましたもので，機械部を新たに設けまして，そちらの方にも力を入れていく方針でございます.

岸　本　-053 ほう一.（うなずく）

中　村　-054 やはり，繊維だけでは，なかなか難しいものですから.

岸　本　-055 ふん…….（うなずく）

中　村　-056 そこで，新しい部ができましたのを機会に，なんとかこちら様ともお取り引き願いたいと思いまして，ごあいさつに伺ったようなしだいです.

（岸本，会社概要をテーブルに置く）

岸　本　-057 そうですか．-058 いやあ，ご承知のように，わたくしどもの機械メーカーの業界も，技術革新が激しくて，新しい製品を次々開発していかなければならないので，あー，製品開発には力を入れていますよ．

中　村　-059 そのように伺っております．-060 こちらが，当社の扱っております製品カタログです．（カタログを岸本に渡す．岸本，カタログを見る）

岸　本　-061 ほう，先程のお話のとおり，光学センサーが多いようですなあ．

鈴　木　-062 はい，光学センサーでしたら，かなり広い範囲のものを扱っております．

岸　本　-063 そうですか．-064 わが製作所としましても，大変興味がありますので，さっそく検討させていただきます．

中　村　-065 それは，どうもありがとうございます．-066 よろしくお願いいたします．-067 ……では，きょうはお忙しいところを，大変ありがとうございました．-068 また，近々，お伺いさせていただきます．

岸　本　-069 そう願えますか．-070 よろしく．

（中村，鈴木，立ち上がる．岸本も立ち上がる）

鈴　木　-071 大変失礼いたしました．

岸　本　-072 どうも．-073 （二人を促して）さっ．

（中村，鈴木，岸本，応接室を出て，受付の辺りであいさつをする）

中　村　-074 ここでけっこうです．

岸　本　-075 では，ここで失礼します．

中　村，鈴　木　-076 よろしくお願いいたします．

岸　本　-077 よろしく．

（受付の女性も立って，中村，鈴木に礼をする．中村，鈴木，立ち去る．岸本，見送って立ち去る．受付，座る）

ユニット　2

人に何かを頼むとき
—依頼・要求・指示—

人に何かをしてくれるよう頼むということは，ことばを使ってなされる行為の中でも代表的な種類のひとつと言える．しかし，依頼をするということは相手に何らかの負担をかけることになり，それだけに，誰に何を頼むか，どのような場面でどのような立場の話し手として発話するかなど，さまざまな要因を考慮に入れながら，ことばづかいや言い方（声の調子，顔の表情，はっきり言いきらずにためらってみせる，など）を選択する必要が出てくる．

このユニットは，パートで出版社の編集の仕事をしている主婦を主人公にしている．家庭での家庭との会話，仕事先の打ち合わせの場でのやりとり，そして友達とのおしゃべりなどの中で，いろいろなタイプの依頼，要求，勧誘などがなされる．典型的な依頼の文型と言われる「～して下さい」「～していただけませんか」とはまた異なる間接的な要求の仕方，たとえば提案の形をとる，言いさしてあとは相手に察してもらう，などの例も，いくつも含まれている．また，市役所で手続きをする場面，デパートや近所の魚屋で買い物をする場面など，話し手・聞き手の立場がはっきりしている場面のバリエーションも含まれている．

セグメント　7　**届出をする**　　——市役所で——

▽登場人物　　吉岡泰子（主婦，３０歳代）
中野敏子（声のみ．泰子の友人，女性）
吉岡義男（声のみ．泰子の夫）
米屋の店員（男性）
市役所の案内係（女性）
市役所の係員（男性）

▽場　面　①　泰子の家．敏子から電話がかかってくる．
②　泰子の家．敏子との電話中，米屋が訪ねてくる．
③　泰子の家．再び，敏子との電話．
④　市役所．泰子，受付で尋ね，戸籍係へ行く．
⑤　市役所内の公衆電話．泰子，夫に電話をする．

【セグメント７　場面①】

泰子の家．

（居間で引っ越しの整理をする泰子．電話が鳴り，泰子，受話器を取る）

泰　子　-001 はい，吉岡でございます．

敏　子　-002 あっ，もしもし，中野ですが．

泰　子　-003 ああ，中野さん．

敏　子　-004 引っ越し，終わりました？

泰　子　-005 ええ．-006 いま，後片付けしてたところ．

敏　子　-007 そう．-008 お手伝いに行きましょうか．

泰　子　-009 ああ，ありがとう．-010 少しずつやるから，だいじょうぶ．-011 お母さんにも手伝ってもらってるし．

敏　子　-012 そう．-013 ところで，住み心地はいかが？

泰　子　-014 そうね．-015 うちは前よりも少し広いし，敬一やまゆみの学校も近いし，まあまあ，ってとこかな．-016 一度いらして．

敏　子　-017 ええ，ありがとう．

（玄関のチャイムが鳴る）

泰　子　-018 あっ．-019 だれか来たみたい．-020 ちょっと，お待ちになって．

【セグメント7　場面②】

泰子の家．敏子との電話中に玄関のチャイムが鳴る．

（泰子，受話器を置き，玄関の方へ行く）

泰　子　-021 はい，どちら様でしょうか．

米　屋　-022 駅前の米屋ですが．

泰　子　-023 ああ．（玄関のドアをあける）

米　屋　-024 ああ，どうも．

泰　子　-025 どうも．

米　屋　-026 駅前の南米店ですが，お米や灯油，自然食品なども扱っておりますので，御用のときはよろしくお願いします．

泰　子　-027 あっ，そう．　-028 御用聞きはしてもらえるの．

米　屋　-029 ええ．　-030 こちらは，月曜日になっておりますが．

泰　子　-031 月曜は，いないときが多いから．

米　屋　-032 日曜も，まわっておりますので．

泰　子　-033 じゃ，お願いしようかしら．

米　屋　-034 はい，承知しました．　-035 ありがとうございます．

泰　子　-036 じゃ，いま，ちょっと電話中なので．

米　屋　-037 あっ，どうもすみませんでした．　-038 （チラシを渡す）じゃ，よろしくお願いします．

泰　子　-039 はい．　-040 （ドアを閉める）どうも．

【セグメント7　場面③】

泰子の家．米屋が帰り，泰子，玄関から電話口へ．

（泰子，再び電話をとる）

泰　子　-041 お待たせして，ごめんなさい．　-042 お米屋さんだったの．

敏　子　-043 引っ越しするといろんな人が来たりして，たいへんね．

泰　子　-044 あっ，たいへんと言えば，午後から市役所に行ってこなくちゃあ．

敏　子　-045 あらー，ごめんなさい．　-046 電話，長くなっちゃって．

泰　子　-047 いいえ，こちらこそ．

敏　子　-048 来週でも，一段落したら，うちにも遊びにいらして．

泰　子　-049 ええ．　-050 とにかく一度，お電話します．

敏　子　-051 じゃあ．　-052 後片付けがんばって．　-053 それじゃ，失礼します．

泰　子　-054 じゃあ，ごめんください．

【セグメント7　場面④】

市役所.

（泰子，市役所に入り，受付係でたずねる）

泰　子　-055 すみません.　-056 戸籍を移したいんですが.

案内係　-057 転籍ですか.

泰　子　-058 ええ.　-059 こんど引っ越して来まして，戸籍も移したいんですが.

案内係　-060 住民票の届出はお済みですか.

泰　子　-061 ええ.　-062 転籍届の用紙も持ってきておりますから.

案内係　-063 それでしたら，一番の窓口へ行ってください.

泰　子　-064 はい，どうも.

（泰子，戸籍係のカウンターへ）

泰　子　-065 すみません.　-066 お願いします.（用紙を出す）

係　員　-067 （用紙を見て）ここに，あなたの名前と生年月日，それからここに印鑑を押していただけませんか.

泰　子　-068 はい，分かりました.

係　員　-069 あっ，それから，今日の日付をお書き下さい.

泰　子　-070 はい.

（泰子，用紙に記入し，カウンターに戻る）

係　員　-071 はい.　-072 それから，現在の戸籍謄本を出してください.

泰　子　-073 はい.

（泰子，戸籍謄本を出す．係員，受け取って見る）

係　員　-074 もう一通お願いします.

泰　子　-075 えっ，もう一通いるんですか.

係　員　-076 ええ，二通ないと届出ができないんですよ.

泰　子　-077 急ぐんですけど，何とかなりませんか.

係　員　-078 そうですね.　-079 なるべく早くやっておきますから，とにかくもう一通謄本を持ってきてください.

泰　子　-080 持って来ましたら，いつごろ，こちらで新しい謄本いただけますか.

係　員　-081 そうですね.　-082 翌日ですね.

泰　子　-083 あっ，そうですか.　-084 はい，分かりました.

係　員　-085 はい.

泰　子　-086 じゃ，お願いします.

係　員　-087 よろしく.

【セグメント 7　場面⑤】

市役所内の公衆電話.

（泰子，義男に電話をかける）

泰　子　-088 あっ，義男さん，わたしですけど．-089 いま，市役所に来てるんですけど，それで，今までの謄本がもう一通いるんですって．-090 それで，謄本を持っていくと次の日に新しいのがもらえるらしいけど，パスポートの方，間に合うかしら．

義　男　-091 うん，じゃあ，急がないとな．

泰　子　-092 あなた，今日中に区役所へ行って，取ってきてくれない？

義　男　-093 うーん．-094 じゃ，やってみるか．

泰　子　-095 じゃあ，お願いしていいかしら．

義　男　-096 うん．

泰　子　-097 はい，じゃあ．（受話器を置く）



セグメント　8　**買物をする**

——デパートで——

▽登場人物　　吉岡泰子（主婦，３０歳代）
吉岡さと（泰子の義母）
デパートの案内係（女性）
デパートの店員（女性）
近所の魚屋の店主（男性）

▽場　面　①　デパート．入り口から受付．泰子，さと，買い物にくる．
②　デパートのスプーン売り場．泰子，さと，スプーンセットを買う．
③　自宅近所の商店街．泰子，さと，歩きながらの話．
④　商店街の魚屋の店先．泰子，夕食のおかずを買う．

【セグメント８　場面①】

デパートの入り口．

（泰子とさと，入り口を入り，店内を歩く．店内のアナウンスが流れている）

泰　子　-001 お母さん，まず，食器売り場へ行きたいんですが．

さ　と　-002 義男の会社の部長さんへは，スプーンだったわね．

泰　子　-003 ええ．

（二人，案内所付近に来る）

泰　子　-004 あっ，ちょっと待ってください．（案内係にたずねる）-005 すみません．

案内係　-006 いらっしゃいませ．

泰　子　-007 スプーン・セット売り場は？

案内係　-008 そちらのエスカレーターで７階までいらしていただきまして，左手奥にございます．

泰　子　-009 どうも．　-010 （さとのところへ来て）７階ですって．

（二人，エスカレーターに乗る）

店内アナウンス　-011 毎度御来店くださいまして，ありがとうございます．

【セグメント8　場面②】

デパートのスプーン売り場.

（泰子とさと，売り場へ来る）

店　員　-012 いらっしゃいませ.

（二人，ショーケース前で）

泰　子　-013 これなんかどうでしょう.

さ　と　-014 なかなか上品ね.

泰　子　-015 すみません.　-016 これ，ちょっと見せていただけませんか.

店　員　-017 はい，かしこまりました.　-018 こちらでございますね.

泰　子　-019 ええ.

（店員，スプーンセットの箱をケースの上に出す）

さ　と　-020 いいわね.　-021 でも，ちょっと重そうな感じもするわね.

（泰子，うなずく）

泰　子　-022 こちらのも，見せていただけませんか？

店　員　-023 はい.　-024 （別の箱を取り出して）どうぞ御覧くださいませ.

泰　子　-025 いいことはいいけど，お値段もちょっと…….

店　員　-026 こちらは，外国製のものでして，デザインも，使われている銀も質のいいものでございます.

泰　子　-027 どれにしようかしら.

店　員　-028 おつかいものでございますか.

泰　子　-029 ええ.　-030 新築祝いのお返しなの.

店　員　-031 ああ，それでしたら，こちらなどいかがでしょうか.（もうひとつの箱を取り出す）

泰　子　-032 それも銀ね.

店　員　-033 はい，さようでございます.

泰　子　-034 どれにしましょうか.

さ　と　-035 やはり，最初に見せていただいたのが，いんじゃあなあい.

泰　子　-036 そうですね.　-037 じゃ，これにしましょうか.　-038 （店員に）これ，ください.

店　員　-039 はい，かしこまりました.　-040 おのしはいかがいたしましょうか.

泰　子　-041 粗品としておいてちょうだい.

店　員　-042 はい.

泰　子　-043 それから配達をしてほしいんですが.

店　員　-044 はい，かしこまりました.（用紙を持って来る）-045 では，ここにお届け先のご住所とお名前をお願いいたします.

泰　子　-046 はい.（住所を書く） -047 はい.（用紙を渡す）

店　員　-048 2万7千円いただきます.

泰　子　-049 カードでお願いします.

店　員　-050 はい.

（泰子，カードを渡す）

店　員　-051 はい，少々お待ちくださいませ.

泰　子　-052 はい.

店　員　-053 （カードを持ってレジへ行き，帰って来て）こちらにサインをお願いいたします.

泰　子　-054 はい.（サインして店員に渡す）

店　員　-055 はい. -056 しばらくお待ちくださいませ.（再びレジへ行く．もどって来て） -057 たいへんお待たせいたしました. -058 カードをお返しいたします. -059 こちらはお控えでございます. -060 どうも，ありがとうございました.

泰　子　-061 どうも.

【セグメント8　場面③】

自宅近所の商店街.

（泰子とさと，歩いている）

泰　子　-062 ちょっと，夕飯の買い物をしていきたいんですけど，先にお帰りになりますか.

さ　と　-063 そうですね. -064 そうさせてもらいましょうか.

泰　子　-065 今日は，お魚にしようと思うんですけど.

さ　と　-066 そうね. -067 きのうはお肉でしたね.

泰　子　-068 ええ. -069 じゃあ，お魚屋さんに寄ってみます. -070 あっ，うちの鍵はお持ちですか.

さ　と　-071 ええ. -072 持ってますよ.

泰　子　-073 じゃあ.

【セグメント８　場面④】

商店街の魚屋の店先.

（店先に魚屋の店主．泰子がやって来る）

店　主　-074 はい，いらっしゃい．-075 毎度どうも．

泰　子　-076 今日は，何がおすすめかしら？

店　主　-077 かつおにあじにいわしってとこだね．-078 かつおなんかどう？
-079 あじはいまがちょうど旬だよ．-080 さしみにしたら最高だね．
-081 どうです．-082 持ってってよ．

泰　子　-083 じゃあ，かつおとあじ，いただこうかしら．

店　主　-084 はい，毎度．-085 えー，さしみで？

泰　子　-086 ええ．-087 あっ，届けてもらえるかしら？

店　主　-088 へい．-089 けっこうですよ．-090 どちらさんで？

泰　子　-091 今度，１丁目１１の２６に引っ越してきた吉岡ですけど．

店　主　-092 へい，かしこまりました．

泰　子　-093 じゃあ，おいくら？

店　主　-094 えー，２８００円です．

泰　子　-095 はい．-096 これ，３０００円．

店　主　-097 はい，３０００円のお預かり．

店　員　-098 さあ，いらっしゃい．-099 はい，どうもありがとうございます．
-100 はい，いらっしゃいませ．-101 さあ，いらっしゃい．-102 今日は，お買得ですよ．-103 さあ，いらっしゃいませ．-104 いらっしゃいませ．

店　主　-105 はい，２００円のおつり．-106 毎度ありー．

泰　子　-107 じゃ，お願いするわね．

店　主　-108 あとでお届けします．-109 さあ，いらっしゃい，いらっしゃい．

セグメント　9　**打合せをする**　　――出版社で――

▽登場人物　　吉岡泰子（主婦，出版社の嘱託，３０歳代）
川口　悟（出版社の編集部員，男性）
編集主任（男性）
編集課長（男性）
印刷会社の社員（男性）
喫茶店のウェイトレス

▽場　面　　①　出版社の会議室．泰子，主任，川口，編集の相談をしている．
②　出版社の会議室．泰子と主任，印刷会社社員を呼び，打ち合わせをする．
③　出版社の会議室．泰子，主任，川口，課長，編集の打ち合わせをする．

【セグメント９　場面①】

出版社の会議室．

（主任，川口と泰子がテーブルを囲んで立っている）

主　任　-001 まあ，座ってください．

泰　子　-002 引っ越しをしたもので，だいぶ遅くなったのですが…….

主　任　-003 ああ，引っ越し．　-004 もう片付きましたか．

（主任と川口に向かい合って泰子，座る）

泰　子　-005 ええ，おかげさまで，だいぶ．　-006 それで，これ，先日，お預かりした原稿……，割り付けをしてみたのですが，ページ数が予定より多くなって，あのう，３ページ多い２４３ページになりました．

川　口　-007 やっぱり，予定ページでなくちゃいけませんか．

主　任　-008 うん，……まずいだろうな．

川　口　-009 じゃあ，やっぱり３ページ，詰めますか．

泰　子　-010 それが，そのう，かなり無理して編集してありますので…….

川　口　-011 この表なんか，横にしてみたら？

泰　子　-012 でも，みんな縦になっておりますから…….

川　口　-013 やっぱり，おかしいか．　-014 絵の部分か何か，はずせませんか？

主　任　-015 うん，……それは，やはり，ちょっとまずいだろう．

川　口　-016 じゃあ，ここの写真を……4，5枚はずしたらどうかな？

主　任　-017 うん，それは考えられるな．-018 でも，もっと詰めなきゃならないんでしょう？

泰　子　-019 ええ．-020 あと1ページ半ほど詰めないと…….

主　任　-021 1ページ半ね．-022 あっ，ちょっと，そこのブラインド開けないか．

川　口　-023 あっ，そうですね．（ブラインドを開け，ふたたび席につく）

主　任　-024 後は，本文を少し詰めてもらうしかないな．-025 先生にお願いしてみてくれないか．

川　口　-026 なかなか難しいんじゃあないですか．

主　任　-027 とにかく急ぐから，まずその線でやってみよう．

川　口　-028 課長にも3ページ増やす方向で相談してみましょうよ．

主　任　-029 うん，それはしてみよう．

川　口　-030 はい．

泰　子　-031 あっ，それから，あのう，ここの写真とこの表がないんですけれど．

川　口　-032 あっ，それ，丸山先生にいただかなきゃ．

泰　子　-033 あっ，今日中にもいただけませんか．

川　口　-034 はい，電話してみましょう．

泰　子　-035 お願いします．-036 あっ，よかったら，わたしが取りに伺いますが……．-037 編集の方で伺いたいこともあるし…….

主　任　-038 吉岡さんひとりというわけにもいかんだろう．-039 川口君，君も行って，詰めるお願いをしてみてくれ．

川　口　-040 はい，分かりました．

泰　子　-041 それから印刷のほうと打ち合わせをしておきたいんですが…….

主　任　-042 あっ，そうでしたね．-043 下で待ってるだろう．-044 ちょっとみてきてくれないか．

川　口　-045 はい．-046 じゃあ，ついでに丸山先生のご都合を伺ってみます．

主　任　-047 ああ，そうしてくれ．

川　口　-048 はい．

主　任　-049 それから……（泰子に向かって）コーヒーでいいですか．

泰　子　-050 ええ．

主　任　-051 コーヒーを4つとってもらえない？

川　口　-052 はい．（会議室を出ていく）

泰　子　-053 あのう，発行予定日は変わっていませんね．

主　任　-054 ええ．　-055 変更はちょっと．

泰　子　-056 ああ．

【セグメント 9　場面②】

出版社の会議室．

（泰子と主任，テーブルについている．印刷会社の社員が入って来る）

社　員　-057 あっ，どうも．

主　任，泰　子　-058 どうも．

泰　子　-059 どうぞ，こちらに．

社　員　-060 失礼します．（泰子の隣に座る）

泰　子　-061 あのう，この原稿ですけど，ここのところはごめんどうでしょうけど，このようにしてみてくれませんか．

社　員　-062 はい，分かりました．

泰　子　-063 それからここのところは，原稿がまだなんですけど，……

社　員　-064 ええ．

泰　子　-065 後から入れますから，ほかのところから先にやってもらえないでしょうか．　-066 それはだいじょうぶでしょうね．

社　員　-067 そうですね．　-068 だいじょうぶですが，いつごろ，原稿をいただけますか．

泰　子　-069 来週の月曜日には，だいじょうぶだと思います．

社　員　-070 はい，分かりました．

（ウェイトレス，コーヒーを運んでくる）

ウェイトレス　-071 お待たせしました．

主　任　-072 あっ，どうも．

ウェイトレス　-073 失礼します．

主　任　-074 ここに一つね．

ウェイトレス　-075 はい．　-076 どうぞ．

泰　子　-077 あっ，どうも．

主　任　-078 さあ，どうぞ．

社　員　-079 はっ．

ウェイトレス　-080 はい，どうぞ．　-081 ありがとうございました．

主　任　-082 ごくろうさま．（ウェイトレス，去る）

泰　子　-083 それで，校正はいつ出ますか．

社　員　-084 えーと，さ来週の木曜ごろになりますが……．

主　任　-085 もっと早くしてもらえないかな．

社　員　-086 いつごろならいいんでしょう．

主　任　-087 そうだな．　-088 来週の土曜日ごろにならないだろうか．

社　員　-089 じゃあ，工場に急ぐように言いましょう．　-090 でも，ちょっと無理かもしれません．　-091 お電話します．

主　任　-092 うん，そうしてもらえるかな．

（川口が戻って来る）

社　員　-093 じゃあ，こちら，お預かりしてもよろしいでしょうか．

主　任　-094 いいですか．

泰　子　-095 えっ，けっこうです．

社　員　-096 じゃあ，これで失礼します．（立ちあがる）

主　任　-097 校正が出たら，連絡頼むよ．

社　員　-098 はい，すぐお電話します．　-099 それでは．

主　任　-100 よろしく．

泰　子　-101 よろしく，お願いします．

川　口　-102 どうも．



【セグメント9　場面③】

出版社の会議室.

（泰子，主任，川口，テーブルを囲んでいる．印刷会社社員，部屋を出ていく）

川　口　-103 丸山先生，これから伺ってもいいそうです.

（部屋を出ようとする社員と入れ違いに課長が入って来る）

社　員　-104 あっ，どうも.

課　長　-105 やあ，よろしく.

社　員　-106 はい.

泰　子　-107 （立ち上がって課長に）どうも.

課　長　-108 （主任に向かって）3ページ多いんだって.

主　任　-109 ええ.　-110 3ページ増やすわけにはいきませんか.

課　長　-111 ああ，なんとかしてほしいな.　-112 （泰子に向かって座るようにすすめて）あっ，どうぞ.

泰　子　-113 はい.

課　長　-114 ところで，丸山先生のところへ行っていただけるそうですね.

泰　子　-115 ええ.　-116 急いだ方がいいと思いまして.

課　長　-117 いや，お手数をかけますな.　-118 丸山先生，ちょっと気難しい方ですから，何か言われても，お気を悪くされないように.

泰　子　-119 はい.

課　長　-120 川口君.

川　口　-121 はい.

課　長　-122 先生に文章と写真を削っていただく方向でなんとかお願いしてみてくれたまえ.

川　口　-123 はい，やってみます.

セグメント　10　**お願いをする**

——大学で——

▽登場人物　　吉岡泰子（主婦，出版社の嘱託，３０歳代）
川口　悟（出版社の編集部員，男性）
丸山郁夫（大学教授，男性）
佐久間義彦（大学助教授，男性）

▽場　面　①　大学構内から，丸山教授の研究室．泰子，川口，編集上のお願いに行く．
②　大学の佐久間助教授の研究室．泰子，川口，資料を借りるため訪れる．

【セグメント10　場面①】

大学構内．泰子，川口，歩いて，丸山教授の研究室の前に来る．

川　口　-001 ここです．

泰　子　-002 はい．

（川口，ドアをノックする）

丸　山　-003 どうぞ．

川　口　-004 失礼いたします．

（部屋に入る川口と泰子）

丸　山　-005 （座るようにすすめて）そこへ．

川　口　-006 お邪魔いたします．

（川口と泰子，丸山の方へ進む）

川　口　-007 先ほどは，お電話で失礼いたしました．-008 あのう，ちょっと，ご紹介させていただきます．-009 （泰子を示して）こちら，編集を担当しております吉岡です．

泰　子　-010 編集の吉岡でございます．-011 （名刺を渡して）よろしくお願いいたします．

丸　山　-012 ああ，どうも．-013 （座るようにすすめて）どうぞ．

川　口　-014 はい．

（ソファにすわる川口と泰子）

丸　山　-015 それで，相談とは？

川　口　-016 ええ，あのう，実は，ご相談というより，お願いなのでございますが，ええー，本のページ数が予定より，ええー，3ページほど，増えてしまいまして，なんとか，それを詰める方法はないかと…….

丸　山　-017 つまり，削れ，というわけですね．

川　口　-018 ええ，そのう，なんとか，お願いできましたらと……思いまして．

丸　山　-019 それはできませんよ．-020 それに，かなり詰めて書いてありますからね．

川　口　-021 ええー，もう少し余裕を持ってお願いすればよかったのですが…….

泰　子　-022 あのう，ここの写真を数点，削っていただくわけにはまいりませんでしょうか．　-023 そうしますと，あのう，1ページ半ほど余裕が出ますが…….

丸　山　-024 そこの写真5枚を……，別な写真1枚に替えますか．

川　口　-025 あとは，本文の方で，なんとかお願いできないでしょうか．

丸　山　-026 本文はだめです．-027 本文は変えられません．

泰　子　-028 この引用の部分を小さくするわけにはまいりませんでしょうか．

丸　山　-029 文字をですか．

泰　子　-030 ええ．

丸　山　-031 読みにくくなるでしょう．

泰　子　-032 （見本を取り出して見せる）これぐらいの大きさになりますが．

丸　山　-033 ああ，かなり読みにくいが……，まあ，しかたがないでしょう．

川　口　-034 では，そのようにさせていただきます．

泰　子　-035 あのう，それから，ここの表と変更になりました新しい写真がありましたら，拝借させていただけないでしょうか．

丸　山　-036 写真は，いま，ありません．-037 明日までに佐久間君に用意してもらいましょう．-038 表はいま，佐久間君のところへ行って，もらってください．-039 ほかに何か．

川　口　-040 はい，分かりました．-041 本日は，とつぜん伺いまして，…….
-042 本当にありがとうございました．-043 では，明日，写真を佐久間先生のところに拝借に伺います．

丸　山　-044 ああ，そうしてください．

川　口　-045 では，これで失礼いたします．

泰　子　-046 失礼します．-047 ごめんくださいませ．

（川口，泰子，丸山教授の部屋を出る）

【セグメント10　場面②】

大学の佐久間助教授の研究室.

（泰子，川口，部屋の前に来て，川口，ドアをノックする）

川　口　-048 あのう，現代出版社の川口ですが.

佐久間　-049 ああ，どうぞ.

（川口，泰子，部屋に入る）

川　口　-050 ああ，先生，ご紹介します. -051 あのう，編集担当の吉岡さんです.

泰　子　-052 はじめまして. -053 編集を担当しております吉岡でございます.

（名刺を渡す）

佐久間　-054 あっ，どうも. -055 はじめまして.（名刺を取り出して渡す）

泰　子　-056 よろしくお願いいたします.

佐久間　-057 （いすをすすめて）さっ，どうぞ.

川　口　-058 はい.

川　口　-059 さっそくですが，いま，丸山先生のところに伺いまして，打合せをさせていただいたんですが.

佐久間　-060 はあ，はあ.

川　口　-061 あのう，この表を拝借したいとお願いしましたところ，佐久間先生からお借りするようにとのことでしたので.

佐久間　-062 ああ，分かりました. -063 ちょっと待ってくださいよ.

（佐久間，書類入れから資料を取り出し，川口，泰子の前に出す）

佐久間　-064 これですね.

泰　子　-065 拝見します. -066 ……この表は紙面の都合で，ここを三列に分けてもよろしいでしょうか.

佐久間　-067 それは，ああ，かまいませんよ. -068 あまり変なところで分けなければ.

泰　子　-069 はい，承知しました. -070 では，これ拝借します.

佐久間　-071 はい，どうぞ.

川　口　-072 それから，丸山先生に写真をお願いしたんですが，明日，佐久間先生に用意してもらうとおっしゃっていましたので，よろしくお願いします.

佐久間　-073 はい，分かりました. -074 取りにいらっしゃいますね.

川　口　-075 はい，伺います. -076 午後2時ごろでは，どうでしょうか.

佐久間　-077 ええ，けっこうです.

川　口　-078 では，これで失礼いたします.

泰　子　-079 失礼いたします.

（泰子，川口，佐久間助教授の部屋を出る）

セグメント　11　**手伝いを頼む**

——家庭で——

▽登場人物　　吉岡泰子（主婦，３０歳代）
吉岡義男（泰子の夫）
吉岡敬一（長男，小学５年生）
吉岡まゆみ（長女，小学２年生）
吉岡さと（泰子の義母）

▽場　面　①　日曜日の朝．泰子の家の食堂．家族で引っ越しの後かたづけの相談をする．
②　敬一の部屋．片づけをしながら，散歩に行く相談がまとまる．
③　城山公園．家族で散歩をする．

【セグメント11　場面①】

日曜日の朝．泰子の家の食堂．

（泰子，朝食の用意をしている．長女まゆみは，泰子の手伝い．長男敬一は食卓で漫画を読んでいる．さとは食卓についている）

泰　子　-001 まゆみちゃん，お父さんに「ごはんです」って言ってきてちょうだい．

まゆみ　-002 はーい．

泰　子　-003 敬ちゃん，もうごはんだから，本読むのはやめなさい．

敬　一　-004 うーん．（なま返事をして漫画を読んでいる）

泰　子　-005 お母さん，目玉焼きでよろしいですか．

さ　と　-006 ああ，いり卵にしてちょうだい．

泰　子　-007 はい．

まゆみ　-008 すぐ来るって．

泰　子　-009 はい．

義　男　-010 （洗面所から）石けん，ないぞ．

泰　子　-011 あっ．

（泰子，食堂を出る．義男，洗面所にいる）

泰　子　-012 （顔をのぞかせて）下の棚を見てください．

義　男　-013 下の棚？

泰　子　-014 ええ．　-015 あった？

義　男　-016 ああ．

（泰子，食堂に戻ってくる．敬一，漫画を読んでいる）

泰　子　-017 敬一，早く本をしまいなさい．

敬　一　-018 分かったよ．

（義男，食堂に来る）

さ　と　-019 （義男に）部屋の片付けは済んだのかい．

義　男　-020 うん．　-021 もう少しだよ．

さ　と　-022 少しは，泰子さんの方も手伝いなさいよ．

義　男　-023 やってますよ．

（全員，食卓につく）

泰　子　-024 さあ，お待たせしました．　-025 いただきましょう．

全　員　-026 いただきます．

泰　子　-027 あなた，食事が終わったら，クーラー，みて．　-028 それから，敬一とまゆみの部屋の片付けを手伝ってちょうだい．

義　男　-029 うん．

さ　と　-030 それじゃあ，わたしは掃除をするわ．

泰　子　-031 あっ，お願いしてよろしいですか．

さ　と　-032 ええ，いいですよ．

【セグメント11　場面②】

敬一の部屋.

（義男，敬一と二人で整理をしている）

義　男　-033 ほら，この本，どこへ入れるんだ.

敬　一　-034 その辺でいいよ.

義　男　-035 そっちは教科書だろう.　-036 分けて入れとけよ.

敬　一　-037 うん.

（まゆみ，入ってくる）

まゆみ　-038 ねえ，ねえ，お父さん，まゆみのお部屋も手伝ってよ.

義　男　-039 お兄ちゃんのところが終わったらね.

敬　一　-040 おい，まゆみ，これ，お前んだ.　-041 持ってけよ.

まゆみ　-042 お兄ちゃん，持ってってよ.

義　男　-043 そこへ置いとけ.

（泰子，入り口に現れる）

泰　子　-044 敬一，洗濯するから，パジャマとシーツ，出してちょうだい.

敬　一　-045 はーい.　-046 （パジャマとシーツを泰子に渡す）はい.

泰　子　-047 片付けが終わったら，早く勉強しちゃいなさい.

敬　一　-048 うん，分かった.

（泰子，行ってしまう．掃除機をかけるさと．洗濯をしている泰子．再び敬一の部屋）

まゆみ　-049 ねえ，お父さん，今日，どこかにつれてってよ.

義　男　-050 うん，……そうだな.

敬　一　-051 動物園がいいな.

義　男　-052 それは無理だよ.

敬　一　-053 じゃ，どこでもいいよ.

義　男　-054 城山公園へ行ってみようか.

まゆみ　-055 うん.　-056 行こう，行こう.

義　男　-057 よーし，じゃあ，お母さんに言ってごらん.

まゆみ　-058 言ってこようっと.

（出ていくまゆみ．さとが入ってくる）

さ　と　-059 まだ終わってないのかい.

敬　一　-060 もうすぐだよ.

義　男　-061 さあ，これでだいたい終わりかな.　-062 次は，まゆみの部屋か.

-063 おーい，まゆみ，おいで.　-064 まゆみの部屋だよ.

【セグメント11　場面③】

城山公園.

（池のほとりを散歩する義男，泰子，敬一，まゆみ）

敬　一　-065 あっちへ行ってみようよ.

義　男　-066 うん，先に行け.

（4人，フィールド・アスレチック風の遊具のところへ来る）

敬　一　-067 ねえ，お父さん，早くこっちへ来てよ.

義　男　-068 おお.　-069 いま，行く.　-070 気をつけろよ.

（ベンチに座っているまゆみと泰子）

まゆみ　-071 わあー，おもしろそう.

泰　子　-072 まゆみちゃんもやってらっしゃい.

まゆみ　-073 うん.

（遊具で遊ぶ敬一とまゆみ）

敬　一　-074 ああ，のど，乾いた.

泰　子　-075 お水，飲んでらっしゃい.

敬　一　-076 ジュース，買ってよ.

まゆみ　-077 わたしにも買ってよ.

泰　子　-078 だめですよ.　-079 おうちに帰ればあるでしょう.

敬　一　-080 ちぇっ.　-081 つまんないの.

泰　子　-082 さあ，そろそろ帰りましょうか.

義　男　-083 うん.　-084 さあ，降りて，降りて.

（家路につく4人）

義　男　-085 また，来ような.

敬　一　-086 今度は，ジュース買ってよ.

まゆみ　-087 わあ，楽しかった.

泰　子　-088 そう.



セグメント　12　**友達を誘う**

——友達の家で——

▽登場人物　　吉岡泰子（主婦，３０歳代）
　　中野敏子（泰子の友人，女性）
　　ベティ・スミス（泰子・敏子の友人，女性）

▽場　面　①　団地の中の敏子の家．泰子が訪ねてくる．敏子，電話でベティを誘う．
　　②　団地の中の敏子の家．ベティが訪ねてくる．
　　③　川越の提灯祭り．泰子，敏子，ベティ，祭り見物をする．

【セグメント12　場面①】

団地の中の敏子の家．

（団地の中を歩く泰子．ドアの前にやってくる．チャイムを鳴らす）

泰　子　-001 ごめんください．

敏　子　-002 （ドアを開けて）あっ，吉岡さん．

泰　子　-003 お邪魔します．

敏　子　-004 さあ，どうぞ．

（居間．テーブルを囲んで座る二人）

敏　子　-005 （おしぼりをすすめて）どうぞ．

泰　子　-006 どうも．

敏　子　-007 暑かったでしょう．　-008 何，お飲みになる？

泰　子　-009 じゃ，お茶，くださらない？

（敏子，お茶を入れ始める）

泰　子　-010 これ，そこで買ってきたの．

敏　子　-011 あら，悪いわね．　-012 おうちのほうは，もう片付いた？

泰　子　-013 ええ．　-014 この間の日曜日に，お母さんや主人に手伝ってもらって，ほとんど片付いたわ．

敏　子　-015 そう．　-016 じゃあ，もう一段落ね．

泰　子　-017 ええ．

敏　子　-018 今日は，ゆっくりなさって．

泰　子　-019 ええ．　-020 でも，夕方にはおいとまするわ．

敏　子　-021 あっ，ちょっと川越のちょうちん祭り，見に行ってみない？

泰　子　-022 ちょうちん祭り？

敏　子　-023 ええ，川越の．

泰　子　-024 あら，いいわねー．　-025 じゃ，行ってみようかしら．

敏　子　-026 はい，どうぞ，お茶．

泰　子　-027 どうもありがとう．

敏　子　-028 ああ，それから，ベティさん，ほら，カルチャーセンターでいっしょだった．

泰　子　-029 ああ，ベティさん．

敏　子　-030 あの人とこの間，偶然，道で会って．　-031 そしたら，このすぐ近くに住んでるの．　-032 びっくりしちゃった．　-033 ベティさんも，お誘いしてみましょうか．

泰　子　-034 あら，わたしもお会いしたいわ．

敏　子　-035 じゃ，お電話してみるわ．

（電話する敏子）

敏　子　-036 もしもし，あっ，中野です．

-037 ……ええ，いま，吉岡さんが見えてるんです．

-038 もし，よろしかったら，わたしのところにいらっしゃいません？

-039 三人で川越のちょうちん祭りにでも行ってみようって，話しているんですが．

-040 ……そう．

-041 ……じゃあ，お待ちしてます．

（敏子，テーブルへ戻ってくる）

敏　子　-042 すぐおいでになるって．

泰　子　-043 そう．

【セグメント12　場面②】

団地の中の敏子の家.

（居間で本を見ている泰子．玄関のチャイムが鳴る）

敏　子　-044 どちら様でしょうか.

ベティ　-045 （ドアの前で）ベティです.

（ドアがあく）

敏　子　-046 ああ，いらっしゃい．-047 すぐ分かりました？

ベティ　-048 ええ．-049 お電話，ありがとう.

敏　子　-050 さあ，お入りになって.

ベティ　-051 失礼します.

敏　子　-052 吉岡さんもお待ちよ.

（居間．ベティと敏子，入ってくる．泰子が座っている）

泰　子　-053 こんにちは．-054 おひさしぶりです.

ベティ　-055 こんにちは．-056 お元気そうですね.

泰　子　-057 ええ.

敏　子　-058 さあ，どうぞ．-059 いま，おそうめん，作ってるの．-060 ベティさんめしあがるでしょう.

ベティ　-061 ええ，好きですけど．-062 でも…….

敏　子　-063 めしあがって．-064 三人分，もう用意してあるの.

ベティ　-065 じゃ，ごちそうになります.

敏　子　-066 ちょっとお待ちになっていて.

泰　子　-067 もう，どれぐらいお会いしなかったかしら.

ベティ　-068 そうですね．-069 一年半ぐらいですね.

泰　子　-070 それで，ご研究のほうは，日本文化の？

ベティ　-071 ええ．-072 いま，東上大学の研究室に行っています.

泰　子　-073 ああ，そうですか.

敏　子　-074 （台所から）お待ちどおさま．-075 さあ，こちらへ.

泰　子　-076 じゃ，ごちそうになりましょうか.

ベティ　-077 はい.

（泰子，ベティ，食卓につく）

敏　子　-078 さっ，おかけになって.

ベティ　-079 おいしそう.

泰　子　-080 おいしそう.

泰　子　-081 いただきます．

ベティ　-082 いただきます．

敏　子　-083 はい．　-084 どうぞ，めしあがって．　-085 （薬味をすすめて）もし，よろしかったら．

泰　子　-086 はい．

敏　子　-087 どう，おいしい？

泰　子　-088 うーん，おいしい．

【セグメント12　場面③】

川越の提灯祭り．

（お祭りの情景．敏子と泰子，ベティ，歩いている）

敏　子　-089 ちょっと，写真とりましょう．

（敏子，写真をとる）

敏　子　-090 はーい．

泰　子　-091 あっ，どうもありがとう．

ベティ　-092 今度は，わたしがとりましょうか．

敏　子　-093 そう，じゃあ，お願いするわ．

ベティ　-094 はい．

（ベティ，写真をとる．蔵づくり前を歩く人々．祭りを見る家族．浴衣姿の女の子．ヨーヨー屋．たこ焼き屋．楽しそうな三人）



ユニット　3

人のことばにこたえて
―承諾・断りと注目表示―

依頼や要求を学習項目としたユニット2に続いて，このユニット3ではそれに対する受け答えを主なテーマとしている．相手のことばに対する返答，中でも，相手の頼みを断るといった場合には，相手の気分を損ねないよう，ことばを適切に選択し，表現をやわらげる必要がある．例えば，断りを言う場合には，その方策として，理由を述べる，声や表情で気がすすまないことを示す，はっきり答えるのを回避して相手に察してもらう，といったさまざまなものが考えられ，このユニット3の中で，そうした例が提示されている．映像の中に現れる断りの場面について，その話し手が，相手との関係やことがらの性質，その場の状況などをどのようにとらえ，どのような配慮を持って自分の意思を表しているのかに目を向けることによって，日本語で効果的なコミュニケーションを行うための訓練に役立てることができる．

もう一つのテーマ「注目表示」は，相手の存在や発言を認識したことを表わす機能である．詳しい定義は『日本語教育映画基礎編　総合文型表』(国立国語研究所　1987，㈱日本シネセル発行）やこの後に刊行される『日本語教育映像教材　中級編　関連教材』の他の巻を参照されたい．たとえば，「はい」などの返事，相手の発言を受ける「そうですか」，質問の答えを述べる前にクッションとして言う「うーん」「そうですねえ」などのことばが担う役割がそれで，やりとりの流れをスムーズにし，雰囲気をやわらげる働きを持つ機能である．その意味では，「おことばを返すようですが」などの前置き表現も，同様の効果を持つものと考えられる．これらは，目立たない要素でありながら，それらがなければ会話が円滑に進まないという意味で，自然な日本語のやりとりを指導する上で軽視できない部分と言える．

セグメント　13　**お見合いを勧められる**

□登場人物　　沢木雄二（フリーカメラマン，男性，３０歳）
岸本喜美子（スーパーマーケット・チェーン勤務マーケッター，女性，26歳）
沢木雅広（雄二のおじ）
岸本智明（喜美子の父）
岸本貞子（喜美子の母）
アメリア・ソリアーノ（喜美子の同僚，フィリピン人，女性，26歳）

□場　面　①　９月末．日曜の午後．雄二の自室．おじ，訪ねてきて，見合いを勧める．
②　平日の夜．喜美子の家の客間．雄二のおじ，喜美子と両親に見合いを勧める．
③　終業後．ＭＪストアの喜美子のオフィス．喜美子，アメリアに見合いのことを話す．

【セグメント13　場面①】

９月末．日曜の午後．沢木家．雄二の自室．

（雄二，ローテーブルに置いたビュアの上でネガを見ながら仕事をしている．テーブルの隅にカメラ．ステレオが鳴っている．おじ，突然入ってくる）

おじ　-001 お，やってるな．

雄二　-002 （目を上げず）あ，おじさん．

おじ　-003 （雄二の向いに座る）お前，誰か付き合ってる人，いるのか．

雄二　-004（驚いて目を上げ）え，なに，いきなり．（気がついてステレオのボリュームをしぼる）

おじ　-005 どうなんだ．

雄二　-006 ……別に．

おじ　-007 いい人がいるんだ．　-008 おれの友達の娘でさ．　-009 今度，会ってみろ．　-010 うーん，あの子はいいよ．　-011 ちっちゃい時からよおく知ってるし．

雄　二　-012 それ，見合いってこと？

お　じ　-013 お前も，もう３０だったな．

雄　二　-014 （照れてカメラを取り，いじりはじめる）歳は関係ないよ．

お　じ　-015 お前はよくったって，おやじさん来年は定年だぞ．

雄　二　-016 わかってるよ．

お　じ　-017 じゃ，今度写真持ってくるから．

（おじ，立って出ていく．雄二，まんざらでもなさそうな顔）

【セグメント13　場面②】

十日ほど後の平日の夜．喜美子の家の客間．

（雄二のおじ，喜美子の父・母，話している．喜美子，帰宅し，入ってくる）

喜美子　-018 ただいまあ．-019 あら，おじさま，いらしてたんですか．

お　じ　-020 ああ．-021 やあやあ．-022 忙しそうだね．

父　-023 ちょっとすわんなさい．

喜美子　-024 （ソファの端に座りながら）あら，なにかお話？

父　-025 ああ．-026 これ見せていただきなさい．（テーブルの見合い写真を取って渡す）

喜美子　-026 え一っ，お見合い？

お　じ　-027 うん，実はわたしのおいなんだけどね．

喜美子　-028 あ，そう．-029 だって，まだわたし……（写真を開かぬままテーブルに置く）

お　じ　-031 いやあ，いい男だよ．-032 フリーでカメラマンやってるんだけどね．

喜美子　-033 そうですか．-034（言いにくそうに両親の顔などちらちら見ながら）でも，わたし自分で探しますから．

父　-035 （やや厳しく）一度ぐらいお会いしてみてもいいんじゃないか．

母　-036 そうよ．-037 沢木さんもせっかくおっしゃってくださるんだから．

父　-038 うん．

（喜美子，断りたそうにおじ・両親の顔とテーブルの写真をちらちら見る）

【セグメント13　場面③】

翌日．終業後．ＭＪストアの喜美子のオフィス．

（喜美子とアメリア，向かいあったそれぞれのデスクの上を片付けている）

アメリア -039（首をかしげて）岸本さん，どうかしたの．-040 元気ないみたいね．

喜美子　-041 そう見える？

アメリア -042 ええ．

喜美子　-043 うーん．-044 お見合い．

アメリア -045 え？

喜美子　-046 お見合いするのよ．

アメリア -047 ほんとう．-048 いいじゃない．（デスクの列の端を回って喜美子の隣に座る）

喜美子　-049 あんまりよくない．

アメリア -050 どうして．

喜美子　-051 なんかねえ．-052 気が進まないの．

アメリア -053 どんな人なの，お相手．

喜美子　-054 父の友達の人がお話持ってきてね，断われないじゃない．

アメリア -055 そうなのかな．-056 でも，いい人ならいいじゃない．-057 結婚は，するんでしょ？

喜美子　-058 まあ，いつかはねえ．-059 でも，恋愛がいい．

アメリア -060 恋愛だって，チャンスがなければ相手が見つからないでしょ．-061 お見合いも，いい人見つけるチャンスだと思えばいいのよ．

喜美子　-062 そうねえ．-063 こだわること，ないのかな．

アメリア -064 そうよ．-065 私の国でもねえ，私の父と母だって，会社の上司の人が紹介してくれて知り合ったんですって．

喜美子　-066 そう，お見合いって日本だけじゃないんだ．-067 でもねえ，会っちゃうとまた断りにくくなるしねえ．

アメリア -068 その時はその時よ．

喜美子　-069 うーん．-070 じゃ，ま，しっかり見てこようかな．

セグメント　14　**お見合いをする**

□登場人物　　沢木雄二（フリーカメラマン，男性，30歳）
岸本喜美子（スーパーマーケット・チェーン勤務マーケッター，女性，26歳）
沢木雅広（雄二のおじ）
沢木　翠（雅広の妻，雄二のおば）
岸本貞子（喜美子の母）

□場　面　①　１０月の第一日曜．おじの家の座敷．雄二，喜美子，見合いをする．
②　後刻，近くの公園．雄二，喜美子，歩きながら話す．
③　同じ日の夕方．喜美子の家の台所．喜美子，母に縁談を断るよう頼む．
④　その夜．喜美子の家．電話口．喜美子の母，雄二のおじに断りの電話をする．



【セグメント14　場面①】

10月の第一日曜．おじの家の座敷．

（おじの隣に雄二，雄二の向かいに喜美子，卓を囲んで座っている．喜美子の隣の席が空いている）

おじ　-001 それじゃ，（咳払い）ええ，改めて．-002 （咳払い）これが，あっ，いや，こちらが，沢木，雄二，……君で，うー，仕事が写真屋で．

（おば，茶を持って入ってくる．空いている席に座り，茶を出す）

雄二　-003 （ひそひそ声で）おじさん，写真家です．

おじ　-004 う，あ，そうか．-005 そういえばこの間，なんか賞もらったって言ったな．

雄二　-006 えっ，（喜美子をちらっと見て）ええと，写真協会新人賞を．

喜美子　-007 （一応感心した風にうなずいて）はあ．

おば　-008 喜美子さん，どうぞめしあがって．

喜美子　-009 （会釈して）はい．

おじ　-010 それで，ええ，こちらが岸本喜美子さんだ．-011 お仕事が，スーパーのＭＪストアーで，ええ，……．（言いよどむ）

喜美子　-012 （おじのことばを引き取って）自社商品の開発と販売企画をいたしております．

おじ　-013 そうそう．-014 （雄二に）そうなんだよ．

（画面，ワイプ．少々の話があった後）

おば　-015 あなた，よそいきのお話はそれぐらいで……．

おじ　-016 うん？

おば　-017 少しお二人だけで話していただいたら．-018 （雄二に）この先の公園，雄ちゃん，知ってるわね．-019 ちょっとご案内して，歩いてらっしゃい．

おじ　-020 おお，そうそう．-021 そらいい．-022 行ってこい，行ってこい．

喜美子　-023 （雄二を見て，湯のみのふたを閉めながら）じゃあ……．

雄二　-024 あ，それじゃ．（つられて湯のみのふたを閉め，立ちかける）

【セグメント14　場面②】

後刻，近くの公園．

（雄二・喜美子，歩いている．雄二が黙っているので，喜美子，話しだす）

喜美子　-025 沢木さんは，どんなお仕事が多いんですか．

雄　二　-026 多いというと，……まあ，いろいろ……．

喜美子　-027 はあ……．　-028 あの，お仕事じゃなくて，ご自分のテーマもお撮りんなるんでしょう．

雄　二　-029 ええ，一応……．

喜美子　-030 はあ……．　-031 どんな，あのう，ものを？

雄　二　-032 自然，かな．

喜美子　-033 あ，じゃ，風景とか，お花とか．　-034 私も好きだわ．

雄　二　-035 ほんとは，人間なんですけど．　-036 むずかしいですね．

喜美子　-037 人間．　-038 むずかしいんですか．

雄　二　-039 ええ，むずかしい．

喜美子　-040 はあ……．　-041 （やや間があいて）私もよくカメラマンの方に商品の写真お願いしますけど，そういう宣伝みたいなものっておきらいかしら．

雄　二　-042 いや，そういうのもやっぱり人間だから．

喜美子　-043 （けげんな顔でやや考えてから）自然のものをお撮りになるんだったら，……，あのう，どんなところへいらっしゃるんですか．

雄　二　-044 （少し考えてから）大雪山は……よかったな．　-045 雪で．

喜美子　-046 あ，大雪は私，去年，八月に行きました．　-047 （共通の話題ができて元気づき）雪の時期はきれいでしょうね．　-048 行ってみたいな．

雄　二　-049 （言下に）寒いですよ．

喜美子　-050 （少々がっかりして）あ，沢木さん，暑い方がお好きなんですか．

雄　二　-051　いや，あまり暑いのはちょっと．（喜美子，理解しかねた表情）



【セグメント14　場面③】

同じ日の夕方．喜美子の家の台所．

（喜美子，テーブルで赤鉛筆片手に資料を読んでいる．喜美子の母，買い物から帰り，ガラス戸を開ける）

母　-052 あら，帰ってたの．（買い物の袋を隣のいすに置く）

喜美子　-053 （資料に書き込みをしながら）うん．-054 ねーえ，やっぱり，ピンと来なかったわよ．

母　-055 そう．（喜美子の向いに座る）-056 沢木さん，ずいぶんほめてらしたのにねえ．

喜美子　-057 なんか，仕事のこときいても，はっきりしないし．-058 だいたい，自然の写真撮るっていうのに，寒いのはいやで，暑いのもいやなんだって．

母　-059 それは，だれでもそうじゃないの．

喜美子　-060 こちらの話には乗ってこないし，何話していいか，困っちゃった．-061 写真の新人賞とる芸術家って，あんな人なのかなあ．

母　-062 へえ，賞取ってらっしゃるの．（身を乗り出し，乗り気で）

喜美子　-063 （資料から目を上げて）ねーえ，やっぱりおじさまにお断りしといて．

母　-064 そうお．-065 （勧めたそうに）もう少しおつきあいしてみなくていいの．

喜美子　-066 結局お断りするんなら，早い方がいいでしょう．

母　-067 だけどねえ，なんて言ったらいいのかしらねえ．

喜美子　-068 （また資料を見ながら投げやりに）なんでもいいじゃない．-069 私にはわからない人です，とか．

母　-070 そんなこと言えますか．

（母，喜美子をにらむ．喜美子，笑う）

【セグメント14　場面④】

その夜．喜美子の家．電話口．

（母，雄二のおじに電話している）

母　-071 （言いにくそうに）あのう，せっかくお骨折りいただいて，こんなこと，あの，ほんとにあれなんでございますが，あのう，…….

おじ　-072 （断りと察して）ああ，そうですか．-073 わたしもすっかり緊張しちゃったからなあ．

母　-074 あ，いえいえ，沢木さんにはほんとにお世話んなりまして．

おじ　-075 いやいや，とんでもない．

母　-076 ただ，何ですか，雄二さんはどうも芸術家でいらっしゃるらしいなんて申しまして，あのう，…….

（喜美子，そばへ来て壁によりかかり，母を見ていたずらっぽく笑っている）

おじ　-077 はあ，はあ，合いませんかねえ．-078 あいつも何考えてるのかわからんところがあるんでねえ．

母　-079 いえ，喜美子の方こそ気のきかない子で，あのう，お気に召さないんじゃないかと…….

（喜美子，肩をすくめて笑う）

おじ　-080 いやあ，そんなこたあない．-081 雄二の方は，ずいぶん乗り気でしてね．

母　-082 （ちょっと困って）あ，そうでございますか．-083 それは，…….

おじ　-084 ま，喜美ちゃんがそういうことならしかたないですな．-085 こればっかりは．

母　-086 （ほっとして）あ，ほんとに申し訳ございません．-087 あの，お電話でほんとに失礼いたしました．-088 先様へ，あの，どうかよろしく…….

おじ　-089 え，え，わかりました．-090 じゃ，ま，これで．

母　-091 あ，ごめんくださいませ．-092 （頭を下げながら）また，改めまして…….（相手が切るのを確かめて電話を切る）

（母，喜美子をにらみ，喜美子，おどけておじぎをする）

セグメント　15　**提案をする**

□登場人物　　岸本喜美子（スーパーマーケット・チェーン勤務マーケッター，女性，26歳）
アメリア・ソリアーノ（喜美子の同僚，フィリピン人，女性）
杉田元樹（喜美子の直属の課長，男性）
福崎　忠（喜美子の直属の係長，男性）
奥田　誠（喜美子の後輩，男性）

□場　面　　①　平日の午後．喜美子の勤め先，ＭＪストアの会議室．喜美子，新商品の企画を課内会議に提案する．
②　終業後．ＭＪストアの喜美子のオフィス．雄二の写真をポスターに採用することになる．



【セグメント15　場面①】

10月下旬．平日の午後．喜美子の勤め先，ＭＪストアの会議室．

（課内の企画会議．テーブルの上にアウトドア用食器セットの試作品）

課　長　-001 で，福崎さんはやはりお客様の層のことが気になるということなんですか．

係　長　-002 それなんですよ，お客の層があんまり薄いんじゃつまんないって思うんですよね．

（奥田，並べてある食器セットをしまいにかかる．カチャカチャと耳障りな音）

喜美子　-003 あの，それは確かに重要な点ですが，ええ，そのことは既に検討ずみですし，結局，商品開発の対象が明確になるほど，層は薄くならざるをえないわけですから，その範囲内でどれだけ対象のニーズを掘り起こせる商品であるかが問題になるのだと思いますが．

係　長　-004 そうそう，それはあるんだけど，（課長の顔色を見て）それにしてもこのデザイン，やはり気になりますよねえ．

（奥田，どうやっても納まらず，もてあまし，一同渋い顔）

課　長　-005 （咳払い）どうですか．

（アメリアが手をあげる）

アメリア　-006 すみません，（資料のグラフが載っているページを示しながら）試作品アンケートの分析結果を前もってお配りしてありますが，それによれば，デザインの点では支持があると考えてよろしいと思います．

係　長　-007 あ，（手元の書類の束を探しながら）うーん，データはそうも読めるだろうけど，それはやはり数字に過ぎないんでね．

アメリア　-008 データは十分に信頼できると思います．-009 岸本さんもおっしゃったように限られた層ですが，結婚してすぐの若い夫婦を中心に強い反響があります．

喜美子　-010 試作の前にスケッチをお見せした段階でも説明いたしましたが，こういった感覚の商品が今後かなり出ていくことになると思います．

係　長　-011 確かに説明は聞いたけど，こうして形になってみるとやっぱりねえ，売れるかなって感じなんだなあ，うん．

（喜美子，奥田から試作品を取り上げ，手際よく収納する．感心して眺めている奥田）

奥　田　-012 あのう，いいですか．-013 これ，売れると思うんですけど．

係　長　-014 君，これ使えるのかね．

奥　田　-015 あ，すいません．-016 だけど，このややっこしいとこがまたいいんです．

係　長　-017 ん？ -018 なんなんだ，そら．

課　長　-019 ふーん，好奇心を刺激するっていうことかな．

係　長　-020 （おおげさに感心して）あ，なるほど．-021 そうですね．-022 それはあるでしょうね．

喜美子　-023 やはり，かなり若い層をねらった企画ということで，若い方の意見は参考にしてよろしいんではないでしょうか．

係　長　-024 しかし，私だって永年の経験から言ってるんだからね．

喜美子　-025 はい，おっしゃる通り，経験は貴重なものだと思いますが，

係　長　-026 うん．

喜美子　-027 （係長の顔をつぶさぬよう，遠慮しながら）やはり客観的なデータもあることですので．

課　長　-028 じゃ，まあ，上の方で最終的な判断はするわけだから，課としては一応承認ということでどうかな．

係　長　-029 （すんなりうなずく）あ，はい．

課　長　-030 で，販売企画の方は，すぐ案が出ますか．

喜美子　-031 はい，ええ，あさってにはお見せできると思います．

課　長　-032 あさってね．-033 じゃ，それで用意してもらいましょう．
-034 あと，今日は？

係　長　-035 え，特に……．-036 （一同を見渡し）ああ，何かあったかな．
-037 （一同無言なので，課長に）あ，特に無いようですが．

課　長　-038 じゃ，今日はこれで．-039 お疲れ様．

係　長　-040 あ，お疲れ様でした．

（奥田，さっさと立ち上がる）

【セグメント15　場面②】

10月末の平日．終業後．喜美子のオフィス．

（喜美子，アメリア，奥田，それぞれのデスクで残業している）

奥　田　-041 （デスクで写真雑誌等を見ながら）違うんだなあ．-042 なあんか無いかなあ．

アメリア -043 ああ，あのポスターの写真？

奥　田　-044 そうなんです．-045 どれもなんか重たくて．

アメリア -046 重たい？ -047 どういうこと？

奥　田　-048 うーん，（少し考えて）まじめすぎるっていうか，……．

アメリア -049 ふーん．-050 （デスクの引き出しから写真雑誌を出し，写真の載っているページを開く）これ，どう．-051 （奥田に渡す）今日もらったの．

奥　田　-052 へえ．-053（写真を見ながら）うーん，いいじゃないこれ．-054 うん，いけるいける．-055 へえ．（アメリアをそっちのけにして立ち上がり，デスクを回って喜美子のそばへ）-056 岸本さん，こんなの見つけたんですけど，こいでいきましょうよ．

喜美子　-057（別のことを考えていて）え，なに，（写真雑誌を取りながら）ええと，なんだったっけ．

奥　田　-058 ほら，ポスター．

喜美子　-059 あ，そうか．-060 （写真を見る）うん，いいんじゃない．-061 だれ，これ．

アメリア -062 沢木雄二とかいう人．-063 まだ若い人みたい．

喜美子　-064 沢木雄二，さん？ -065 （ぎくっとしたが，写真に見入りながら）へえ，こんなの撮るのか．

奥　田　-066 あ，岸本さん，知ってるんですか．

喜美子　-067 （ごまかす）ん，ううん．

奥　田　-068 あ，じゃ僕，連絡してみましょうか．

喜美子　-069 え，あ，そうね．

セグメント　16　**仲人を頼む**

□登場人物　　沢木雄二（フリーカメラマン，男性，30歳）
岸本喜美子（スーパーマーケット・チェーン勤務マーケッター，女性，26歳）
沢木雅広（雄二のおじ）
沢木　翠（雅広の妻，雄二のおば）
杉田元樹（喜美子の直属の課長，男性）

□場　面　①　２月下旬の日曜．おじの家．以前見合いをした座敷．雄二，喜美子，おじに仲人を頼むが，断られる．
②　その週の火曜の終業時．ＭＪストアの喜美子のオフィス．喜美子，課長に仲人を頼み，承諾を得る．



【セグメント16　場面①】

2月下旬の日曜．おじの家．以前見合いをした座敷．

（おじ・おば・雄二・喜美子，卓を囲んでいる）

雄　二　-001 おじさん，今日はちょっと，えと，頼みがあって．

お　じ　-002 仲人だったら，お断りだぞ．

雄　二　-003 おじさん，そう言わないで，頼みますよ．

喜美子　-004 あの，おじさま，私が前にお断りしたからなんですか．

お　じ　-005 いや，そりゃもういいんだけどね……．-006 ま，私も改まった席は苦手だしね．-007 （雄二に）他の人にしろよ．

雄　二　-008 だけどね，最初に僕たちを会わせたのはおじさんなんだから．

喜美子　-009 ええ，おことばを返すようですけど，わたしたちの実際のお仲人はおじさまです．

お　じ　-010 いや，そらそうだけどね，どうも親類が仲人ってのは，ちょっとまずいんだよ．-011 （おばに）なあ．

お　ば　-012 ええ，あんまりないんですって．-013 あんたたちがそう言ってくれるし，おじさんもほんとはやりたいんだけどね．-014 どなたか，あ，雄二の写真の先生の，ええと，藤田先生．-015 あの方，どうなの．-016 でなきゃ喜美子さんの会社の方とか．

お　じ　-017 そうそう，そういう，なんていうか，これから二人がお世話んなるような人がいいぞ．

雄　二　-018 それが，藤田先生はその頃外国へ行ってるって言うんで．

お　ば　-019 あら，そう．-020 じゃあ，会社でどなたか．

雄　二　-021 そうだね．-022 （喜美子に）じゃあ，杉田課長あたりか．

喜美子　-023 そうね．-024 課長にお願いしてみる？



【セグメント16　場面②】

その週の火曜の終業時．喜美子のオフィス．

（終業のチャイムが鳴る．喜美子，課長の席に近づく）

喜美子　-025 課長，お急ぎのところすいません．-026 ちょっと，よろしいですか．

課　長　-027 うん．-028 （ただごとでなさそうなので）ああ．-029 そっち行こうか．

（二人，先に会議をした会議室に入る）

課　長　-030 （座りながら）さ，どうぞ．

（喜美子，課長の向いに座る）

喜美子　-031 あのう，実はお願いなんですが．

課　長　-032 うん．

喜美子　-033 わたし，あのう，結婚することになりまして．

課　長　-034 ほお，そうですか．-035 そりゃおめでとう．

喜美子　-036 あ，ありがとうございます．（頭を下げる）

課　長　-037 いやあ，実は気になってたんですよ．-038 そろそろじゃないかと思ってね．

喜美子　-039 はあ．

課　長　-040 で，お相手はどんな？

喜美子　-041 あの，課長もご存じの沢木さんなんですが．

課　長　-042 ああ，あのカメラの．（喜美子，うなずく）　-043 そうか，そらまた，いつの間に．　-044 全然知らなかった．

喜美子　-045 あのう，実はわたし，あのお仕事の前から彼を知っておりまして．　-046 実は彼とお見合いしたことがあって．

課　長　-047 ほう，なんだ，そう．

喜美子　-048 それもわたしの方から断わっていたもので．

課　長　-049 おやおや．

喜美子　-050 ええ，お仕事で一緒になってしまって，本当に困ってしまったんですが．

課　長　-051 そうでしょうねえ．　-052 それで．

喜美子　-053 ええ，初めに見た彼の写真が，あのう，私の感じにぴったりきて．

課　長　-054 ふーん．

喜美子　-055 一緒にお仕事をしているうちに，だんだん彼の考え方とか，感じ方とか，わかる気がしてきたんです．

課　長　-056 うーん，ドラマですねえ．

喜美子　-057 （照れて）そんな．　-058 （改まって）……で，お願いなんですが．

課　長　-059 やめるんじゃないでしょうね．

喜美子　-060 いえ．　-061 お仕事は続けるつもりですけど．

課　長　-062 うん．

喜美子　-063 あのう，実は課長にお仲人をお願いできたらと．　-064 式は４月の１８日なんですが．

課　長　-065 仲人ねえ．　-066 うーん，それは大変光栄だけど，僕なんかよりも，専務とか，でなけりゃ部長にお願いした方がいいんじゃないかなあ．

喜美子　-067 あのう，普段あまりお話ししたこともない方にこんな時だけっていうのは，したくないと思ったものですから．

課　長　-068 （笑いながら，手帳を出して一応見る）日頃身近にいる者にということですか．　-069 じゃ，まあ，やらせていただくとして，帰ってにょうぼうにも相談しときますから．

喜美子　-070 あ，ありがとうございます．　-071 奥様の方がおよろしければ，今度あのう，二人で御自宅の方へおうかがいして．

課　長　-072 うん，そうですね．

喜美子　-073 正式にというか，お願いしたいと思いますので．

課　長　-074 え，じゃ，とにかくウチのに言っときます．

セグメント　17　**結婚式場を決める**

□登場人物　　沢木雄二（フリーカメラマン，男性，30歳）
岸本喜美子（スーパーマーケット・チェーン勤務マーケッター，女性，26歳）
式場相談所係員（女性）
不動産屋（男性）

□場　面　①　さかのぼって，2月中旬の土曜の午後．結婚式場相談所．雄二，喜美子，結婚式場を選ぶ．
②　翌日の日曜日午後．不動産屋の店．雄二，喜美子，新居を探しに訪れる．
③　空き家のマンションの一室．不動産屋，雄二と喜美子に物件を見せる．
④　もう一軒の空き家．一戸建住宅の台所．同じく，不動産屋，雄二と喜美子に物件を見せる．

【セグメント17　場面①】

2月中旬の土曜の午後．結婚式場相談所．

（雄二･喜美子，係員を相手に相談している．係員の後ろにコンピューター端末）

係　員　-001 お式の方はキリスト教式，神式，仏式がございますが，どういう形がご希望でございますか．

喜美子　-002 あ，（雄二に）神式でいいんでしょう．

雄　二　-003 うん．

喜美子　-004 だけど，神式でもできるだけシンプルに済ませたいんです．

係　員　-005 はあ．　-006 それですと，やはりホテル関係になりますですねえ．
-007 神社ですとやはりお式の方に力を入れますので．　-008 それで，ご披露宴は，何名様ぐらい？

喜美子　-009 一応８０人のつもりなんです．　-010　８０人だと，このホテル・サンライズぐらいかしら．

係　員　-011 そうでございますねえ．（キーをたたいて，ホテル･サンライズの画面を表示）　-012　4月と申しますと，ちょっと迫っておりますので，土曜・日曜はあまり空いておりませんですが．

喜美子　-013 ええと，18日が土曜で，19の日曜か，あとは25，26の土日ね．

係　員　-014 25日のひは仏滅になりますので，この日はちょっと．

喜美子　-015 （端末の画面をのぞき込み）あ，どうりで空いてるのね．-016 （雄二に）やっぱりまずいかなあ．

雄　二　-017 うん，僕らはよくてもね．

喜美子　-018 そうね，（係員に）気にする人，多いかしら．

係　員　-019 はい，さようでございますねえ．-020 （端末を振り返り）お昼にご披露宴でございましたら，18日が空いておりますですが．

喜美子　-021 ええ，（雄二に）１１時ごろから式で，１２時ごろから披露宴かな．-022 土曜なら来る人も次の日らくだし．

雄　二　-023 うん，そうね．

喜美子　-024 （係員に）じゃ，ここをとっていただけます？

係　員　-025 はい．-026 （用紙を取り出す）では，こちらにお書きいただけますか．

（喜美子，記入する）

係　員　-027 （端末に向かい，打ち込みながら）ホテル・サンライズ，４月18日の土曜日，11時からのお式，12時からご披露宴で，80名様．-028 お名前が，ええ，（喜美子が記入した用紙を見て）沢木様・岸本様．-029 （振り返り）はい，お取りしてよろしゅうございますね．

喜美子　-030 はい．

係　員　-031 はい．

【セグメント17　場面②】

翌日の日曜日午後．不動産屋の店．

（住宅情報誌を持った喜美子と雄二，入ってくる）

喜美子　-032 ちょっとすいません，これ，まだあいてます？（カウンターの前に座る）

不動産屋 -033 いらっしゃいませ．-034 ええと，ああ，それはちょっともう，入っちゃったんですよね．

喜美子　-035 （がっかりして）あ，そう．-036 （雄二に）どうする．-037 他の，きいてみる？

雄　二　-038 （喜美子の隣に座りながら）うん，なんかあるかな．

不動産屋 -039 そうですね，どういったとこをお探しですか．

喜美子　-040 これくらいの家賃で，ええと，やっぱり小田急で，新宿まで30分ぐらいのところがあれば．

不動産屋 -041 （後ろの,からファイルを取りながら）広さは２ＤＫ．

喜美子　-042 ええ，それ以上はないとねえ．

不動産屋 -043 そうですねえ，だと，これと，こっちのぐらいかなあ．（ファイルを開いて見せる）-044 あ，（思い出して別のファイルを出し，開いて見せる）これもどうかなあ．

喜美子　-045（２冊目のファイルを見ながら）ええっと，これは一戸建ね．-046 各駅停車だと50分ぐらいかかるんじゃありません．

不動産屋 -047 え，そうですね．-048 急行でちょうど３０分ですね．

喜美子　-049 駅からも遠いのね．-050 バスで２５分．

不動産屋 -051 ええ，だけど，新築の南向きで，あと，ＤＫが８畳で広いんですよね．

喜美子　-052 う一ん，（雄二の前にあるファイルをのぞきながら）こっちはマンション．-053 駅からは近いのね．

不動産屋 -054 そうですね．-055 これは各駅でも４０分だし便利ですよ．

喜美子　-056 あ，そう．（三つ目の物件を見る）-057 これ，小田急じゃないんですねえ．

不動産屋 -058 え，乗り換えて一つ目だから，まあ，それほどね，変わんないっすよ．

喜美子　-059 （雄二に）どうしようか.

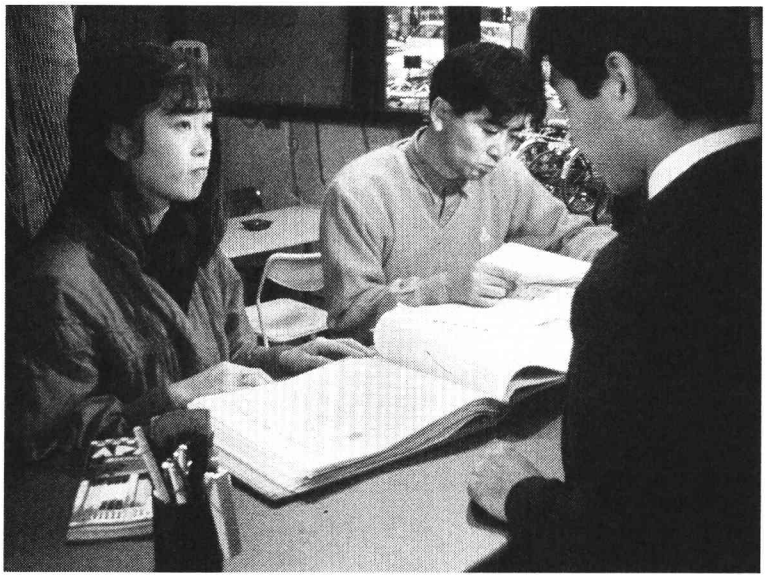
雄　二　-060 うん. -061 （最初のを指して）この遠いのはやめようよ. -062 家賃もあれだし.

喜美子　-063 そうね. -064 あとはこの二つね.

不動産屋 -065 なんだったら，両方ご覧になりますか. -066 今からすぐご案内しますよ.

喜美子　-067 じゃあ，案内してもらおう.

雄　二　-068 うん.



【セグメント17　場面③】

空き家のマンションの一室.

（不動産屋，雄二と喜美子を案内して入ってくる）

喜美子　-069 （見回して）はーん，部屋は広いのね.

（雄二，窓から外をのぞき，窓に近づいて開けると，すぐ前面に隣家の壁．喜美子の方を振り向く）

雄　二　-070 隣のうちが目の前だな.

喜美子　-071 （雄二の脇に来て外をのぞく）あっ，ほんと．-072 これじゃあちょっとねえ.

雄　二　-073 こっちは南だから，日当たりも悪いんじゃないかな.

喜美子　-074 あっ，そうか.

雄　二　-075 やめようか.

喜美子　-076 うん.

【セグメント17　場面④】

もう一軒の空き家．一戸建住宅の台所.

（喜美子，雄二，不動産屋の順に入ってくる）

喜美子　-077 え，奥の部屋は台所通って行くわけ.

（喜美子，向かって左手のドアを開けてみると，浴室）

喜美子　-078 ふーん，お風呂入る時は，台所から入るのね．-079 （雄二に）変なの.

雄　二　-080 使いにくいか.

喜美子　-081 うん．-082 どうする.

雄　二　-083 うん．-084 もう少し見よう.

喜美子　-085 そうね．-086 じゃ，すいません，せっかくだけど.

不動産屋 -087 そうですか．-088 この家賃ならお得だと思うんですけどねえ.

喜美子　-089 え，もう少し考えてからにするわ.

不動産屋 -090 じゃ，また，物件が出たら連絡さしてもらいますから.

喜美子　-091 （雄二と出て行きながら，気がなさそうに）え，そうね.

セグメント　18　**スピーチを頼む**

□登場人物　　沢木雄二（フリーカメラマン，男性，30歳）
岸本喜美子（スーパーマーケット・チェーン勤務マーケッター，女性，26歳）
谷口達夫（フリー・ライター，雄二の友人，男性）
アメリア・ソリアーノ（喜美子の同僚，フィリピン人，女性）
来賓（写真協会理事，男性）
司会者（男性）

□場　面　　① 3月上旬の金曜日夜．炉端焼き屋．雄二，友人の谷口を披露宴に呼び，車を借りる交渉をする．
② 翌週の月曜日昼休み．喜美子の勤め先近く．ビル周辺にあるベンチ付近．喜美子，アメリアに披露宴でのスピーチを頼む．
③ 4月18日土曜日午前11時45分．ホテル・サンライズ結婚披露宴会場．沢木・岸本両家の披露宴．

【セグメント18　場面①】

3月上旬の金曜日夜．炉端焼き屋．

（音楽が流れている．雄二と谷口，飲みながら話している）

谷　口　-001 なんか，話でもあるのか．

雄　二　-002 ああ，今度，結婚することになったんだ．

谷　口　-003 ほお，お前もやっと一人前か．　-004　（焼き方の店員，ホッケの皿を大しゃもじに乗せ，谷口の目の前に出す．谷口，受け取りながら）例の彼女か．

雄　二　-005　（うなずく）うん．

谷　口　-006 で，いつ．

雄　二　-007 4月じゅうはちんち．-008 披露宴やるんで，お前も，出てくれよな．

谷　口　-009 また急だな．-010 あ，でもだいじょぶだよ．-011 出られるよ．

雄　二　-012 それから，ちょっと頼みなんだけど．

谷　口　-013 うん．

雄　二　-014 車，貸してくれよ．

谷　口　-015 いつ．

雄　二　-016 4月じゅうはちんちから10日ぐらい．

谷　口　-017 なんだ，車で新婚旅行いくの．

雄　二　-018 うん．-019 海外旅行なんかより，国内でもゆっくり回ってみたいって，彼女が．

谷　口　-020 ふーん．-021 で，どっちの方．

雄　二　-022 山陰から九州，四国．

谷　口　-023 へえ．-024 お前の車は．

雄　二　-025 ちょっと小さいだろ．

谷　口　-026 そうか．-027 車はいいけど，その代わりといっちゃなんだけど……．（チューハイを一口飲む）

雄　二　-028 何？

谷　口　-029 いや，たいしたことじゃないんだ．-030 山陰から九州の旅行記事書かなきゃいけないんだ．-031 それ，お前書け．

雄　二　-032 え，（驚いて）おれあ，文章だめさ．

谷　口　-033 写真つけて，メモでいいんだよ，メモで．

雄　二　-034 お前，新婚旅行で仕事はないだろ．

谷　口　-035 そこを何とかさ．-036 彼女に手伝ってもらえ．-037 頭いんだから，彼女．

雄　二　-038 （ムキになって）仕事とかそういうの，全部忘れに行くんだからさ．

谷　口　-039 甘い甘い．

雄　二　-040 じゃもう，車はいいよ．

谷　口　-041 （笑いながら雄二の肩をたたいて）ん，いいよ，いいよ．-042 使えよ．

【セグメント18　場面②】

翌週の月曜日昼休み．喜美子の勤め先近く．ビル周辺にあるベンチ付近．

（喜美子とアメリア，歩いてきてベンチに座る）

喜美子　-043 その後に行った不動産屋さんがとてもいい人でね．　-044 絶対遊びに来てね．

アメリア -045 来月の18日ね．　-046 もう絶対出席させていただくわ．

喜美子　-047 ほんと，ありがとう．　-048 それでね，お願いがあるんだけどな．

アメリア -049 なに．

喜美子　-050 会社の仲間の代表で，スピーチしてほしいの．

アメリア -051 ええっ，わたしが．

喜美子　-052 そ．

アメリア -053 だめよお．　-054 せっかくだけど，他の人にして．

喜美子　-055 どうして．　-056 お願い．

アメリア -057 だってわたし，そんなとこであいさつするほど，日本語上手じゃないし，日本の結婚式だって初めてだもの．

喜美子　-058 そんなにかたく考えなくていいのよ．　-059 わたしについて，アメリアが思っていることを，何でも話してくれればいいのよ．

アメリア -060 でも，やっぱり，……．

喜美子　-061 だって，仕事の上でわたしを一番知っているのは，アメリアなんだから．　-062 ね．

アメリア -063 うーん．　-064 だけど，できるかしら．

喜美子　-065 できる，できる．　-066 大丈夫．

アメリア -067 そんな．　-068 何言えばいい？　-069 岸本さんは，すごいやり手で？

喜美子　-070 やり手はよくないな．　-071 あ，それに，そういう時は，名字じゃなくて名前で言うんじゃないかな．

アメリア -072 あ，じゃあ，喜美子さんは？　-073 ああ，喜美子さんは，すばらしいアイデア・ウーマンで．

喜美子　-074 やだ，はずかしい．

アメリア -075 あっ，初めに，本日はおめでとうございました．　-076 ございます？　-077 どっち？

喜美子　-078 ええと，ございます，かな．

アメリア -079 じゃ，そうね，ええと……．

【セグメント18　場面③】

4月18日土曜日午前11時45分．ホテル・サンライズ結婚披露宴会場．

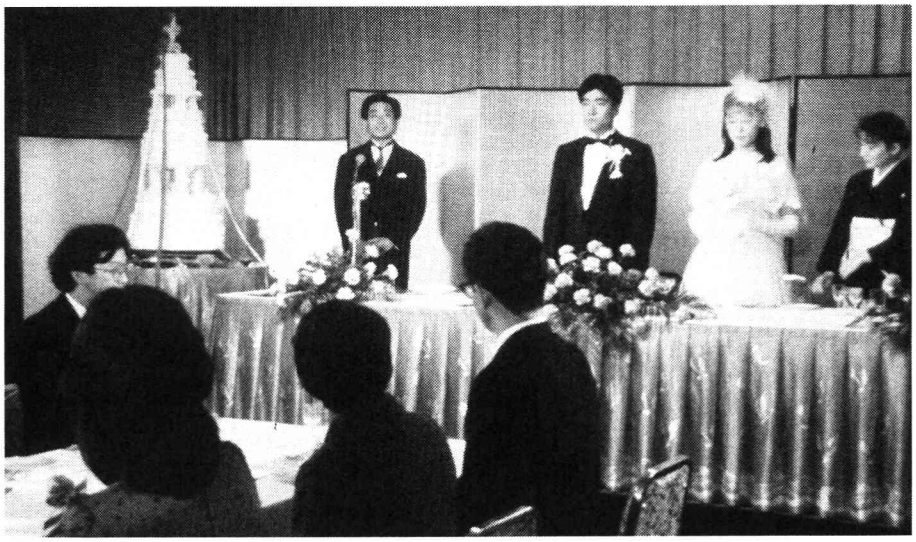
（沢木・岸本両家の披露宴受付付近．記帳し祝儀を手渡す出席者．会場内部．新郎雄二・新婦喜美子，入場．媒酌人，杉田課長あいさつ．ケーキカット）

来　賓　-080 新郎雄二君と新婦喜美子さんの前途を祝しまして，乾杯．

一　同　-081 乾杯．

（新婦，色直しのため退場．談笑したりスピーチを聞く出席者．新郎・新婦，再び入場）





司　会　-082 それでは，新婦喜美子さんのよき同僚でいらっしゃるアメリア・ソリアーノ様からおことばを頂戴したいと存じます．-083 ソリアーノ様，どうぞ，お願いいたします．

アメリア　-084 （立ち上がり，マイクの前へ．新郎・新婦に向かい）喜美子さん，雄二さん，本日はおめでとうございます．　-085 （出席者に向かって）わたしが喜美子さんと一緒にお仕事をさせていただいて，もう4年近くになりますが，いつも，喜美子さんのアイデア・ウーマンぶりには感心させられています．　-086 でも，最近の喜美子さんのアイデアの中には，雄二さんからヒントをいただいて生まれたものが，実はあったんです．　-087 ちょうど今店頭に出ております「シワトールU」というスプレーが，これは服のシワをとるものなんですが，これが喜美子さんの企画なんですね．　-088 おふたりがお付き合いし始めてから，雄二さんの上着のシワがだんだん増えていったんだそうです．　-089 つまり，上着をクリーニングに出してしまうと喜美子さんに会いに行けない，新しい上着を買いに行く時間があったら，喜美子さんに会いたい，と言うんだそうです．　-090 「シワトールU」の「U」がどういう意味か，これでおわかりいただけるんじゃないでしょうか．-091 もちろん，雄二さんの「U」なんですね．　-092 こんなに優しくて，アイデアまで提供してくださるすばらしいだんな様がいらっしゃれば，ご家庭も，お仕事も，ますます充実なさると思います．　-093 喜美子さん，雄二さん，どうかいつまでもお幸せに．　-094 そして，わたしたちとも，いいお友達でいてください．

（一同，拍手．アメリア，礼をして席に戻る）

ユニット　4

意見の違う人に
—問いかえし・反論—

このユニットでは，人のことばに対する反論のさまざまなやり方や，相手の言うことがよくわからなかった場合などの問いかえし方を扱っている．

相手と異なる意見を述べることは，それ自体が摩擦を起こしやすい行為であり，相手との上下・親疎などの関係，話の内容，その場の状況などさまざまな要因を考えあわせて，言い方を選ばなければならない．「確かにその通りですが…」といった前置きをすることもあれば，相手の発言を受ける際の「はあ」「うーん」などの応答を否定的な気の進まない口調で言うことで暗に不賛成の意を表したりすることもできる．このユニットには，そういった配慮をする人，しない人，同じ人でも，する場合，しない場合が，数多く描かれている．やわらげの配慮をしないのはどういう時，どういう相手や場面なのか，配慮の有無によってどのような印象が生まれるかなどに注目して学習を行うのが効果的であろう．

また，相手のことばを問い返す例も多く扱われている．わからないことばが出てきた時，話の展開についていけなくなった時，どうも互いの理解がくい違っているらしいと気づいた時に，不安な点を確認する方策を身につけることも，学習者にとっては重要な学習項目である．

セグメント　19　**イベントを提案する**

○登場人物　　黒川　隆（新興大規模団地に住むメーカーの技術系管理職，50歳）
門田久雄（同じ団地に住む定年退職した公務員，65歳）
三浦　健（団地周辺の酒店主の息子，27歳）
篠塚善子（団地に住む主婦，55歳）

○場　面　①　9月初旬の金曜日夕刻．竹山台ニュータウンに近接する私鉄竹山台駅から団地への道．黒川，帰宅の途中，三浦に会う．
②　翌朝，竹山台団地の一角にあるテニスコート．プレーを終わった黒川，門田，三浦，篠塚，テニス談議をする．
③　同じく，竹山台団地内のテニスクラブ．クラブハウスの中．三浦，団地住民のイベントを提案する．



【セグメント19　場面①】

9月初旬の金曜日夕刻．ニュータウンに近接する私鉄竹山台駅出口．

（勤め帰りの黒川，駅出口を出，駅前ロータリーを通り，団地方向に歩く．道路わきで軽ワゴン車にビールのケースを積んでいる三浦，黒川を見て声をかける）

三　浦　-001 ああ，お帰んなさい．

黒　川　-002 ああ，どうも，ああ，明日でしたね．

三　浦　-003 は．

黒　川　-004 それじゃ．（歩いて去る）

【セグメント19　場面②】

翌朝，竹山台団地の一角のテニスコート．

（プレー中の人々を，黒川，篠塚，門田，三浦，金網越しに見ている）

三　浦　-005 ラケットを引くのが遅いんですよね．

門　田　-006 あれなら，我々の方がうまいなあ．

黒　川　-007 うーん，篠塚さんもずいぶん上手んなったしねえ．

篠　塚　-008 あらあ，あたし，当たるだけよ，飛ばないんだもん．

（4人，金網を離れ，クラブハウスに向かって歩く）

門　田　-009 いやいや，半年であれだけ打てれば，たいしたもんだ．

篠　塚　-010 まあ．

（4人，クラブハウスに入り，ロビーのベンチ周辺に荷物を降ろす）

門　田　-011 いい汗かいたな．（ウーロン茶を買いに立つ）

三　浦　-012 （篠塚に）そうだ，テニス大会，出てみたらどうですか．

黒　川　-013 え？テニス大会って，老人会の？

三　浦　-014 老人会なんて，シルバー・ソサエティって言うんですよ．

門　田　-015 （戻ってきて）老人なんだから，老人で結構．

黒　川　-016 ああ，いや，門田さんのテニスも，さすがベテランですなあ．

門　田　-017 いやいや．

篠　塚　-018 （立ち上がって）亀の甲より年の功．（洗面所入り口の鏡を見る）

黒　川　-019 篠塚さん．

門　田　-020 いやいや，篠塚さん，ほんとに出てみませんか．

三　浦　-021 門田さんとダブルス組んで，ねえ．

門　田　-022 そうだねえ，こういう強力新人となら，けっこううまくいくんじゃないかなあ．

篠　塚　-023 あらあ，新人だなんて，うそばっかり．（去る）

【セグメント19　場面③】

竹山台団地内のテニスクラブ．クラブハウスの中．

（黒川，門田，三浦，ベンチに座っている．ロビーのテレビに秋祭りの映像が映っている）

黒　川　-024 お，お祭りの季節ですか．

門　田　-025 ああ，みこしねえ，なつかしいねえ，よくかついだもんですがねえ．

黒　川　-026 いや，わたしもやりましたよ．

門　田　-027 今じゃ，こんな団地じゃ，みこしもありませんからなあ．

三　浦　-028 だけど，いいでしょうねえ，みんなでおみこしかつぐなんて．

門　田　-029 そりゃそうですよ．-030 なんたってあんた，仲間，って感じんなるしね．（たばこを買いに立つ）



三　浦　-031 そういう連帯感みたいのが，ないんですよねえ．-032 まあ，僕は毎日店にいるから感じるのかなあ．-033 会社に行ってる人たちは別にこれでいいのかもしれませんね．

黒　川　-034 ああ，でも，たまには，みんなでなにかやってみるのもいいかもしれんよ．-035 お祭りじゃなくても，イベントとか．

三　浦　-036 ううん．そうですね．-037 黒川さんたちが一緒にやってくれるんだったら，できるかも知れないですね．

篠　塚　-038 （戻ってきて）何のおべんとですって．

三　浦　-039 え？お弁当？ -040 おべんとじゃなくてイベントですよ，イベント．

門　田　-041 （戻ってきて）団地で何か行事をやったらって話ですがね．-042 どうせやるなら，お祭りがいいなあ．

篠　塚　-043 だって，おみこしもないんでしょ．-044 あったって，かつぐ人いないわよ．

三　浦　-045 だから，もっと違ったことならどうですか．-046 ううん，展覧会とか，あ，コンサートとか．

篠　塚　-047 そんなの，考えたり準備したり誰がやるの？ -048 あたしはできないわよ．

三　浦　-049 そうですかあ？ -050 やっぱり，自分たちの住んでるところですからねえ．-051 食べて寝るだけじゃなくて，こう，文化，ってことがあってもいいんじゃないかなあ．

門　田　-052 文化なら，お祭りだって立派な文化ですよ．

篠　塚　-053 でもねえ，この辺もいろんな人がいるから，まとまんないわよ．
-054 そうそう，外国の人だってね，いるんだし．

黒　川　-055 ああ，あの中国の人ね．-056 あの人たち，何してるんだろう．

三　浦　-057 大学院の学生さんだそうです．-058 コンピューターやってるみたいですよ．

黒　川　-059 へえ，いいじゃないですか．-060 その人たちも入ってくれれば，おもしろいじゃないですか．

三　浦　-061 そうですよ．-062 ねえ，自治会の方には僕が出してみますから．
-063 このメンバーが実行委員になって．

門　田　-064 そうだねえ．-065 ま，素人がどれだけできるかわからんがね．

三　浦　-066 じゃ，今度，一度集まりましょう．-067 来週の水曜，どうですか．

（話は続いている）

セグメント　20　**相談をまとめる**

○登場人物　　黒川　隆（新興大規模団地に住むメーカーの技術系管理職，50歳）
門田久雄（同じ団地に住む定年退職した公務員，65歳）
三浦　健（団地周辺の酒店主の息子，27歳）
篠塚善子（団地に住む主婦，55歳）
北野　恵（保育園保母，26歳）
古山省二（団地に住む事務系サラリーマン）
張　麗華（団地近くの下宿に住む中国人大学院留学生，女性）

○場　面　①　9月第2週水曜日の午後5時半ごろ．団地内保育園の前．北野，保育園からの帰り道，受け持ちの子供に会う．
②　保育園に近い商店街にある三浦の店．北野，買い物に寄り，イベントの相談に出席するよう誘われる．
③　団地内集会所．午後7時半過ぎ．一同，集まってイベントの相談をする．



【セグメント20　場面①】

水曜日の午後5時半ごろ．団地内保育園の前．

（北野，歩いている．母親と5歳ぐらいの男の子が通る．母親，北野，互いに会釈する）

北　野　-001 さとし君，さよなら．

男の子　-002 先生，さようなら．

【セグメント20　場面②】

保育園に近い商店街にある三浦の店．

（北野，やや歩いて，酒屋の店に入る．店内で三浦，紙ばさみを手に，在庫調べの最中．北野を見て，寄ってくる）

三　浦　-003 あ，先生，いらっしゃい．

北　野　-004 こんにちは．　-005 お味噌とね，それからゴマ油お願いします．

三　浦　-006 はい．　-007 ええと，お味噌は，赤いのでしたよね．

北　野　-008 ええ．　-009 でも，この前の，なんかからすぎたから．

三　浦　-010 あ，じゃあ，こっちの，試してみて下さい．　-011 割と甘口になってますから．

（二人，レジの所へ行く）

三　浦　-012 そうだ，先生，今夜，なにか予定ありますか．

北　野　-013 いいえ，別にないけど．

三　浦　-014 じゃあ，よかったら，団地の人たちの相談の会があるんですけど．
-015 なんかイベントやろうって話で．

北　野　-016 ええー，どんなイベント．

三　浦　-017 そら，まだ，今夜相談するんですけどね．　-018 とにかく，みんなでできるようなことを，考えようって．

北　野　-019 そう．　-020 じゃ，ええ，相談だけなら．

三　浦　-021 あ，そうですか．　-022 よかった．　-023 僕ね，あれどうかと思うんですよ．　-024 あのう，先生たちが交替で話をして，それからみんなで質問したりするやつ．

北　野　-025 ああ，あの，シンポジウム？

三　浦　-026 そうそう．　-027 とにかく，文化っていえるようなのがいいんだけどなあ．

北　野　-028 ふーん．　-029 あ，今夜，場所は？

三　浦　-030 あ，団地の集会所に7時半です．

【セグメント20　場面③】

午後7時半過ぎ．団地内集会所．

（黒川，門田，三浦，篠塚，北野，古山，張，集まって話している）

三　浦　-031 ということで，やはり，地域の文化を創造しながらですね，ま，連帯意識を持とうっていうようなことで，やってみたらどうかと．-032 その，お祭りも面白いんですけど，こう，遊びよりはですね，もうちょっと，うーん，やっぱり文化的にと．

（一同やや沈黙）

黒　川　-033 うん……．-034 （一同の様子を見まわして，苦笑しながら）で，具体的にはどんなことになります？

三　浦　-035 それが，あの，（北野に）先生，なんでしたっけ．

北　野　-036 シンポジウムでしょ．

三　浦　-037 ああ．

篠　塚　-038 シンポジウムって，あの学者の？ -039 そんな，無理よ．-040 寝ちゃうわ．

門　田　-041 うん．-042 それより，派手にお祭りやったほうが盛り上がるんじゃないかなあ．

三　浦　-043 いえ，あのう，そんな固い話じゃなくてですね，みんなが興味があって，えと，こう，気楽に聞けるテーマってあるとおもんですよ．

北　野　-044 あの，すいません．-045 地域活動でシンポジウムやったりって，割とあるみたいで．-046 もちろん，専門的なことじゃなくって，地域の歴史とか文化財とか，それから子供のこととか取り上げると，興味持つ人も多いんじゃないかと思うんですけど．

黒　川　-047 うん，案外こう，地域生活っていうんですか，気にしてる人，多いかもしれないですね．-048 僕ら，ただ普段は帰って寝るだけだけど，子供たちにとっちゃここがふるさとってことんなるんだしねえ．-049 もっとこう，積極的に関わらなくちゃとは，みんな思ってるんじゃないのかな．

門　田　-050 ほう，そら，まあわかりますね．-051 そいじゃ，ま，おみこしはあきらめますか．

篠　塚　-052 それからね，さっきチャンさんと話してたらね，前，日本語学校でバザーやったのが，とってもよかったんですって．-053 （張に）ねえ．

張　　-054 はい．-055 留学生は，いろいろ，買いたいものがありますけど，日本は物が高いですから．-056 着るものとか，それから冬になると暖房器具とか，安く買えればとても助かるんです．

北　野　-057 そうですよね．-058 どこのうちでも，まだ使えるけど要らないものとか．

篠　塚　-059 あるのよねえ，ほんと．-060 バザーに出しちゃえば，うちん中の整理にもなるし．-061 （北野にささやく）うちの旦那も出しちゃおうかな．

（北野，笑う）

門　田　-062 しかしさ，そんな古着みたいなもの，みんな買うのかね．

篠　塚　-063 （若干ムキになり）古着じゃないのよ．-064 割といいもの，しまいこんでるもんなんですよ．-065 （北野に）ねえ．

（北野，笑いながらうなずく）

黒　川　-066 ええ，じゃ，さっきの，シンポジウムですか？それとバザーを両方ということにしましょうか．-067 自治会も予算は出すだろうけど，バザーで収益があれば助かるし．-068 古山さん，いかがですか．

古　山　-069 あ，よろしいんじゃないですか．

黒　川　-070 それと，バザーの会場でですね，何かこう屋台か模擬店のようなもので，食べ物でも売ってみたらどうですか．-071 少しはお祭りの雰囲気も出るかもしれないし．

門　田　-072 屋台．-073 いいですねえ．-074 綿あめとか，焼きそばとか．

張　　-075 すみません，やたいっていうのは．

篠　塚　-076 ほら，夜になると駅前に出るじゃない．-077 おでん屋．

張　　-078 あ，わかりました．-079 ギョウザでよければ，屋台ですか，出しましょうか．

門　田　-080 お祭りに餃子か．-081 ふんふん，でも，まあ，いいかな．

黒　川　-082 ええ，チャンさんのせっかくの提案だし，第一，本場のギョウザでしょう．-083 ぜひお願いしましょうよ．

セグメント　21　**打ち合わせをする**

○登場人物　　黒川　隆（新興大規模団地に住むメーカーの技術系管理職，50歳）
門田久雄（同じ団地に住む定年退職した公務員，65歳）
三浦　健（団地周辺の酒店主の息子，27歳）
篠塚善子（団地に住む主婦，55歳）
北野　恵（保育園保母，26歳）
古山省二（団地に住む事務系サラリーマン）
張　麗華（団地近くの下宿に住む中国人大学院留学生，女性）
黄　力（同じ下宿に住む中国人大学院留学生，男性）
文化センター係員（女性）

○場　面　　①　9月下旬の水曜夕刻．地域文化センター管理事務室の窓口前．黒川，シンポジウムとバザーの会場を予約する．
②　同日午後七時半過ぎ，先と同じ団地内集会所．バザー会場のレイアウトと係の分担を相談する．

【セグメント21　場面①】

9月下旬の水曜夕刻．地域文化センター管理事務室の窓口前．

（仕事を早退してきた黒川，入ってきて係員に声をかける）

黒　川　-001 すいません，十月の二一んちと二二んちは，講堂と大会議室は空いてるでしょうか．

係　員　-002 （カウンターの下から会場使用申込用紙を出す）こちらになりますね．

黒　川　-003 （用紙を見ながら）ええと，これは…….

係　員　-004 （さえぎって）そちらに記入例があります．

（係員，窓口を離れて自分のデスクに戻る．黒川，むっとしながら例を見て記入する）

黒　川　-005 ええと，ここは何を書くんでしょう．

係　員　-006 （ゆっくりと窓口に近づき）記入例の通りに書いてください．

黒　川　-007 （とがった声で）該当するのがないんです．

係　員　-008 何，なさるんですか．

黒　川　-009 団地自治会の行事で，シンポジウムとバザーをやるんですが．

係　員　-010 自治会．　-011 （用紙を手にとって見ながら）二百人も集まる行事は，もっと早く知らせていただかないと，予約が入ってしまいますからね．

黒　川　-012 ですから，いつが空いてるか教えていただきたいんです．

係　員　-013 （デスクに戻り，スケジュール表を見て）十月二二日の大会議室は予約が入っています．

黒　川　-014 じゃ，二八んちと二九んちはどうですか．

係　員　-015 大会議室はその日は空いています．

黒　川　-016 講堂は？

係　員　-017 講堂はいつも，使う人がいませんから．

黒　川　-018 空いてるんですねっ．

係　員　-019 空いています．

黒　川　-020 （ひとりごとで）ええと，そうか…….　-021 （係員に）じゃあ，その日を取ってください．

【セグメント21　場面②】

同日午後七時半過ぎ，先と同じ団地内集会所．

（黒川，門田，三浦，篠塚，北野，古山，張，黄，集まって話している．三浦，中央のテーブルに会場見取り図を置き，カードをならべながらレイアウトを説明している）

三　浦　-022 ええと，バザーの会場はこんな風に，ええ，そっちが入り口で，通路を中央にとって，こちらが衣類，こちら側が雑貨類と．-023 それから，食品も若干出るかもしれないんで，出てくればこの辺にして，チャンさんたちのギョウザの店は，その近くでどうかと思うんですね．

篠　塚　-024 ねえ，なあんかスーパーみたいねえ．-025 古山さん，そう思わない．

古　山　-026 そうですねえ，確かに．

門　田　-027 それと，レジが入り口のところだと，出る人と入る人がぶつかっちゃわないかなあ．

三　浦　-028 あ，それは一応だいじょぶだとおもんですけど．

篠　塚　-029 だけど，こんな風に何はここ，何はここって，分けちゃうと，なんだか味気ないわよねえ．

北　野　-030 ええ，やっぱりお祭り気分で来ていただくんだし，色々見て歩いて楽しいっていうのも大事だと思うんですよね．-031 こんなとこにこんなのがあったって．

三　浦　-032 そうかあ．-033 さすが先生，いいこと言うなあ．-034 だけど，じゃ，（古山の方に向いて）どんな風にしましょうか．

古　山　-035 あ，いやあ，レイアウトもこれで，むずかしいですよねえ．

（やや手詰まりで沈黙）

黒　川　-036 ううん．-037 ええと三浦さん，出口は奥の方にもあるんでしたっけ．

三　浦　-038 ええ，（見取り図を指す）ここですね．

黒　川　-039 ああ．-040 水道はその隅．

張　-041 はい，ギョウザはやはりそのそばがいいですね．

黒　川　-042 ああ．-043 ええ，火はどうするんですか．-044 ガス？

黄　-045 ええ，プロパンガスを持ち込みます．

篠　塚　-046 油が飛ばないかしらねえ．

黄　-047 あ，あの，すい餃子なんですよ．

門　田　-048 水餃子ですか．-049 中国じゃ，焼かないんですか．

張　-050 焼き餃子もありますけど，水餃子か蒸し餃子が普通ですね．

黒　川　-051 ああ．　-052 ええと待てよ．　-053 ギョウザは動かさないほうがいいと．　-054 （やや考える）こんなんで，どうかな．（カードを動かす）　-055 出口はどこかなあ，なんて，ちょっとほら，通路も曲げちゃって．

三　浦　-056 なるほどね，これで目玉のお買い得品をこの奥にでも置けば．

門　田　-057 （賛成して）うんうん，篠塚さん，どうです．

篠　塚　-058 ええ，こんならいいんじゃない．

古　山　-059 いやあ，よかったですねえ，へへへ．

（一同，白い目で古山を見る）

黒　川　-060 （あわてて）じゃ，これはいいとして，係の分担の方，いきましょうか．

三　浦　-061 そうそう，会場の掲示，門田さんにお願いしましょうよ．　-062 字がすっごいお上手なんですよ．

門　田　-063 （いかにもうれしそうに）いやいやあ，とんでもない．　-064 私なんか．

篠　塚　-065 そうよね，門田さん書いてくだされば，その分，経費も浮くし．

三　浦　-066 篠塚さん．　-067 （門田に）いや，そんな意味じゃないんですよ．

門　田　-068 いやいや，そんな意味も含めてということで，書かせていただきますよ．

黒　川　-069 いやあ，申し訳ありません．　-070 よろしくお願いします．

北　野　-071 それから，シンポジウムの方の係も決めていただきたいんですけど．

三　浦　-072 ううん，あと，仕事が決まってないのは．（古山を見る．一同も同じく古山を見る）

古　山　-073 私はもう，なんにも能の無い人間でしてねえ．

（一同，冷たい目で古山を見る）

セグメント　22　**交渉をする**

○登場人物　　門田久雄（大規模新興団地に住む定年退職した公務員，65歳）
三浦　健（団地周辺の酒店主の息子，27歳）
篠塚善子（団地に住む主婦，55歳）
北野　恵（保育園保母，26歳）
袋物問屋店員（男性）
笹原千恵子（大学教授，文化人類学専攻）

○場　面　①　土曜午前中．袋物問屋の店内．一同，バザーの目玉商品にするため，品物を選び，値段の交渉をする．
②　１０月初旬の平日午前．笹原教授の研究室．三浦，北野，笹原とシンポジウムについての打ち合わせをする．

【セグメント22　場面①】

土曜日の午前中．袋物問屋の店内．

（門田，三浦，篠塚，北野，店員を相手に，デイパック，ウェストポーチなどを選んでいる）

北　野　-001 篠塚さん，これなんかいいんじゃありません？ -002 大きさもね，たっぷりしてるし．

篠　塚　-003 ええ？そうねえ． -004 この赤っていうのがねえ． -005 あたし，だいたい赤系統はあんまり似合わないのよ．

北　野　-006 あ，色違いもあるんですよ． -007 ほら．（水色を出す）

篠　塚　-008 そうねえ．（ウエストに当ててみる） -009 どう？

北　野　-010 え．お似合いですよ． -011 若く見えて，いいんじゃないかな．

篠　塚　-012 若く見える？ -013 だけど，あたしがこういうのすると，スイカにハエがとまったみたいなんだもん．

（門田，三浦，吹き出す．北野，ことばにつまる）

門　田　-014 別に，篠塚さんがお買いんなるわけじゃないんだから． -015 （店員に）これ，けっこう人気あるんでしょ．

店　員　-016 え，この辺が今，一番よく出てまして．

門　田　-017 じゃあ，これにしましょ，（北野に）ね．

北　野　-018 そうですね． -019 保育園のお母さんたちも，よくこんなの使ってますから．

三　浦　-020 それじゃあ，ウェストポーチはこれ，デイパックはさっきのあの紫のやつでいいですね．

篠　塚　-021 うん．　-022 あとは，値段よね．

三　浦　-023 ええ．　-024 （店員に）まあ，そういうわけで，バザーの目玉商品ってことで，ひとつ，勉強してもらえると．

店　員　-025 はあ．　-026 ま，地元のみなさんのことですので，もう格安にさせていただきたいと思いますが．

篠　塚　-027 三割ぐらいにはしてもらえます？

店　員　-028 三割．　-029 それぐらいでしたら．

篠　塚　-030 ほんとはもうちょっとってところだけど，まあ，それぐらいで，（他の3人に）どう？

三　浦　-031 三割引きですか．　-032 （店員に）もう少し引いてもらえますよねえ．

篠　塚　-033 違う違う．　-034 三割は三割よ．　-035 だから七割引き．

店　員　-036 え，あ，それは，いや，七割引き．　-037 そらあちょっと．

篠　塚　-038 なんなの？

店　員　-039 え，あの，ええ，あ，他の販売店さんの手前もありますので，あのう，そんなにはちょっと．

篠　塚　-040 あら，格安っていったでしょ．　-041 それぐらい何よ．　-042 （北野に）ねえ．

店　員　-043 しかし，七割引きってのは，あまり，むちゃくちゃですよ．

篠　塚　-044 むちゃくちゃとは何よ．

門　田　-045 まあまあ，とにかくここはね，商売抜きということで，考えてみてはくれませんかね．

店　員　-046 はあ，それではね，いっそですね，店の名前を出していただけるんでしたら，宣伝のためということで，一定数，無料でご提供ということで．

北　野　-047 あ，ポスターなんかにお店の名前も出すんですね．

篠　塚　-048 いくつぐらいいただけるの．

店　員　-049 ええ，それはちょっと社長にも相談しませんと．

篠　塚　-050 （他の3人に）あ，じゃ，あたし達からも社長さんにお願いしましょうか．

店　員　-051 あ，いえ，それは結構ですから．

三　浦　-052 すいません．　-053 よろしくお願いします．

門　田　-054 ま，あんたも大変でしょうけど，よろしくたのんます．

【セグメント22　場面②】

10月初旬の平日午前．笹原教授の研究室．

（三浦，北野，シンポジウムの最終打ち合わせに来ている）

三　浦　-055 この度は色々とお手数をおかけしまして．-056 おかげさまで，なんとかイメージもはっきりしてきましたようで．

笹　原　-057 はい，この新しい地域社会の人間関係というのは，わたくしどもにとっても非常に興味があって，避けて通れない問題ですのでね，いろんなお話が聞けるのを楽しみにしております．

三　浦　-058 はい．-059 それから，あの，ご出席いただく先生方との交渉をお願いしておりましたが，そちらはいかがでしょうか．

笹　原　-060 え，（出席者名簿のメモを見ながら）ええ，ことばの専門家として，こちらの大学の野沢先生，それから人類学の方から国立博物館の井上先生．

-061 このお二人からは承諾をいただきました．-062 それから文学のかたもと思って，ええ石川慎吾さん，あの作家の方にお願いしました．-063 こちらはまだ正式なお返事をいただいておりませんが，大丈夫だと思います．

三　浦　-064 あ，本当にありがとうございます．-065 で，あのう，それぞれの先生方には，どういったお話をしていただけることに……．

笹　原　-066 はい，まず野沢先生には，言語学のお立場から，他人との関係づくりのためのことばということで，特に敬語などについてお話しいただきます．

-067 井上さんは都市の人間関係を研究してらっしゃるので，あいさつとか，ことばを交わすとか，そういったことの意味についてお話しいただこうと思うんですよ．（二人，ためらいがちにうなずく）-068 ええ，石川さんのお話がまだ固まっていないんですけれども．

三　浦　-069 はあ，何分しろうとばかりなもので，（北野を見る）ちょっと……．

笹　原　-070 いえ，専門外の方向けということで，ごく具体的なお話をお願いしておりますから．

三　浦　-071 は，何分よろしくお願いいたします．

北　野　-072 （三浦に）それじゃあ，あとは当日おいでいただくことに．

笹　原　-073 はい，ええ，場所をもう一度お教えいただけますか．

北　野　-074 あの，竹山台ニュータウンの地域文化センターなんですが，竹山台の駅のええと，東口からすぐ見えますから．

三　浦　-075 （あわてて）あ，それと，当日は駅までお迎えにまいりますので，一時ぐらいに駅においでいただければ．-076 恐れ入りますが．

笹　原　-077 はい，（メモをとりながら）ええ，竹山台の東口．-078 改札口でよろしいですね．（２人，うなずく）-079 では，一時に参ります．

セグメント　23　**会場の準備をする**

○登場人物　　門田久雄（大規模新興団地に住む定年退職した公務員，65歳）
三浦　健（団地周辺の酒店主の息子，27歳）
篠塚善子（団地に住む主婦，55歳）
張　麗華（団地近くの下宿に住む中国人大学院留学生，女性）
黄　力（同じ下宿に住む中国人大学院留学生，男性）
塗装職人A（男性）
塗装職人B（男性）
医師（男性）
病院事務員（女性）

○場　面　①　10月27日（金）の夜．地域文化センターの大会議室．バザー会場の準備が行われている．
②　同じ大会議室．黄，風邪をひいたらしく，病院へ行くことになる．
③　後刻，渡辺病院．黄，張に付き添われて診察を申し込みに行く．
④　渡辺病院の待合室と診察室．黄，医師の診察を受ける．

【セグメント23　場面①】

10月27日（金）の夜，バザー会場になる大会議室．

（三浦，会場内にポスターなどを貼っている．職人A，B，会場内の仕切りにするついたてにグレーのペンキを塗っている．篠塚，入ってくる）

篠　塚　-001 ああら，なんだかうすぐらいわねえ．　-002　（近寄ってきた三浦に）ねええ，仕切り壁の色って，こんなんだった？

三　浦　-003 でも，一応グレーってことでしたから．

篠　塚　-004 だめよ，こんな陰気くさくちゃ．　-005　（職人たちに）この色ねえ，もう少し明るいのになりません？

職人A　-006 いまから？（Bを見る）

職人B　-007 塗り直してると，明日までに乾きませんけど．

門　田　-008　（近寄ってきて）篠塚さん，そんな無理言わないで．

篠　塚　-009 だって，これじゃ，お客が入ってこないわよ．

（一同，顔を見合わせる．しばし沈黙）

職人B　-010 （職人Aに）じゃあ，あのテープ貼る手はどうですか．

門　田　-011 テープって言うと？

職人B　-012 この上から横に色違いのテープ貼ると，大分明るくなるんですけどね．

-013 （テープを取り出し）こんなのを．

三　浦　-014 ふうん，（手に取ってみて）でも，いくらぐらいかかります？

篠　塚　-015 大丈夫よ．-016 それくらい出せるわよ．-017 やってもらおう．

門　田　-018 じゃあ，色は？

職人B　-019 ええと，明るくってことなら，青か緑か黄色ぐらいですか．

職人A　-020 ま，緑だろうな．-021 （色見本を指して）こんな緑．

門　田　-022 じゃあ，それを急いでやってもらえますか．-023 すいませんねえ．

職人B　-024 じゃ，店に電話してきます．

職人A　-025 ああ，急いで持ってくるように言って．

職人B　-026 はい．

【セグメント23　場面②】

10月27日（金）の夜，バザー会場になる大会議室．

（篠塚，門田，三浦，会場一角の餃子の店へ．黄，そばの椅子に座り込んでいる）

篠　塚　-027 あら，ホァンさん，どうかしたの．

張　-028 なんか熱があるみたいなんです．

篠　塚　-029 え？どれどれ（黄の額に手を当てる）．-030 ほんと．-031 いけないわ．-032 お医者さん，行ったほうがいいわね．

三　浦　-033 ええ，この時間だと，渡辺病院がまだ診察時間でしょう．

黄　-034 大丈夫ですよ．

篠　塚　-035 だめだめ．-036 （三浦に）渡辺病院って言うと．

三　浦　-037 ほら，小学校の先に割と大きな病院，あるでしょう．

張　-038 あ，私，わかります．-039 行ったことがありますから．

三　浦　-040 だけど，ここの準備もあるでしょう？-041 僕，ついていきましょうか．

張　-042 いいえ，あとはあした始まるまでに中身を作って，皮は売りながら作りますから．

門　田　-043 うんうん，とにかく早く行ってらっしゃい．

【セグメント23　場面③】

後刻，渡辺病院玄関．

（張，黄，入っていく．張，受付にいる女性の事務員に，話しかける）

張　　-044 すみません，診ていただきたいんですが．

事務員　-045 初診ですか．

張　　-046 （黄と顔を見合わせて）しょしん？

事務員　-047 （外国人だと気づいて）ああ，初めてですね．

張　　-048 はい，初めてです．

事務員　-049 ええっと，保険証，お持ちですか．

黄　　-050 はい．（診療証明書を出す）

事務員　-051 あ，これですと，一応全額お支払いいただいて，領収書を大学に出していただくと払い戻しになりますから．-052 よろしいですね．

黄　　-053 はい，結構です．

事務員　-054 それでは，お熱を計ってください（黄に体温計を渡す）．

黄　　-055 はい．

事務員　-056 では，そちらにかけてお待ちください．

黄　　-057 はい．

（2人，ベンチに座って待つ）



【セグメント23　場面④】

渡辺病院の待合室.

（黄，張，ベンチに座って待っている）

事務員　-058 どうぞ，お入りください.

張，黄　-059 はい.

（黄，診察室に入る）

医　師　-060 どうぞ，ここへ.　-061 （カルテを見ながら）どうしました.

黄　-062 あの，体がだるくて，熱があるみたいなんです.

医　師　-063 はあ.　-064 体温計を見せてください.

黄　-065 はい.　-066 （体温計を取り出し，読む）ええと，三七度な，ええ，三七てんなな度ですか.

医　師　-067 あ，いいですよ（体温計を取る）.　-068 なな度ななぶですね.

黄　-069 ななぶ.　-070 そうですか.

医　師　-071 他に，痛いところはありませんか.　-072 頭は痛くないですか.

黄　-073 いえ，頭は痛くありませんが，背中がちょっと.

医　師　-074 はあ，背中.　-075 首や肩は凝っていませんか.

黄　-076 こって，と言いますと.

医　師　-077 ええと，こう，固くなって，ちょっと痛いような.

黄　-078 ああ，そうですね.　-079 凝っています.

（医師，カルテに記入する）

医　師　-080 じゃ，ちょっと胸を出して下さい.

（医師，聴診器を耳にはめ，黄，胸を出そうとしている．画面，変わって，待合室で待っている張．再び，診察室．黄，シャツのボタンを留めている）

医　師　-081 （カルテに記入しながら）まあ，風邪ですね.　-082 心配することはありませんけど，明日いっぱいは静かに寝ていてください.　-083 お薬を出しますから，一日に三回，毎食後，のんでください.

黄　-084 あのう，明日とあさって，バザーをやることになっていまして，わたしたちは，ギョウザの店を出すことになっているんですが.

医　師　-085 ギョウザの店.　-086 ううん，本当は休んだほうがいいんですがねえ.　-087 ま，あすの朝，熱がなければね，激しい仕事さえしなければ大丈夫だと思いますけど.

黄　-088 はい，わかりました.　-089 どうもありがとうございました.

医　師　-090 お大事に.

（黄，診察室を出ていく）

セグメント　24　**討論をする**

○登場人物　　篠塚善子（大規模新興団地に住む主婦，５５歳）
バザーの客Ａ（女性，篠塚の夫の勤め先の上司夫人）
バザーの客Ｂ（女性，篠塚の高校の同級生）
バザーの客Ｃ（女性）
笹原千恵子（大学教授，文化人類学専攻）
野沢喜代雄（大学教授，言語学専攻）
井上正文（博物館学芸員，人類学専攻）
石川慎吾（作家）

○場　面　　①　10月28日（土）昼過ぎ，バザー会場．篠塚，バザーに招待した夫の上司夫人と話す．
②　バザー会場．篠塚，同じく高校の同級生と話す．
③　バザー会場．篠塚，品物についての苦情を聞く．
④　10月29日（日）午後，シンポジウム会場．敬語に関する討論が行われる．



【セグメント24　場面①】

10月28日（土）昼過ぎ，バザー会場．

（三々五々訪れる買物客．場内はかなりの盛況．餃子の店が人気を呼んでいる．忙しく働く張，黄）

篠　塚　-001 （知り合いの客Aを見つけて）まあ，本日は，わざわざどうもお運びいただきまして．

客　A　-002 いいえ，ご案内，ありがとうございました．-003 まあ盛況でよろしゅうございましたわねえ．

篠　塚　-004 いいええ，なんですか，こんなことも初めてでございましょ．-005 至りませんことばかりで．

客　A　-006 ああら，そんなこと．-007 ご立派になさってるじゃございませんの．-008 あのね，あたくし，セーターでもいただこうかと思っておりますの．

篠　塚　-009 あ，あちらの方に，割といい物が出ておりますんですの．-010 ご案内いたしますわ．

客　A　-011 あ，いえいえ．-012 お忙しんでしょう．-013 あたくし探しますわ．-014 ね，お構いなく．

篠　塚　-015 さいでございますか．-016 どうぞそれじゃ，ごゆっくり．

（客A，立ち去る）

【セグメント24　場面②】

バザー会場．

（向こうの方で客Bが手を振っている．篠塚，駆け寄る）

客　B　-017 見てたわよ．-018 誰，あれ．-019 気取っちゃってさ．

篠　塚　-020 やあだ，来てたの．-021 ね，なんか買ってくれた？

客　B　-022 今来たばかりだもん．-023 これから見せてもらう．

篠　塚　-024 うん．-025 せいぜいたくさん買ってって．

客　B　-026 うん．-027 また後でね．

（レジで代金を払う客）

レジ係　-028 八百円です．-029 ありがとうございます．-030 二百円のおつりです．-031 どうも．

【セグメント24　場面③】

バザー会場.

（篠塚，レジ付近に来る．客C，先に買ったセーターを持ってレジ周辺を見回している）

篠　塚　-032 あの，何か.

客　C　-033 あのう，これ，さっき買ったんですけど，帰ってから見たら，ここにシミがあるのと，それから，ここに穴があいてるんですよねえ.

篠　塚　-034 ああ，すみません．-035 よく調べたはずなんですが.

客　C　-036 これと同じ物ありません？

篠　塚　-037 それが，みなさんからお出しいただいたものですんで，ほとんどが一点きりなんですのよ.

客　C　-038 そうですかあ．-039 これ，とっても気に入ったんですよねえ.

篠　塚　-040 （近くのセーターの台に客Cを導きながら）かわりにこちらなんかいかがですか．-041 ちょっとおとなしい感じにはなりますけど.

客　C　-042 （まだもとのセーターを見ながら）このシミィ，取れるかしら.

篠　塚　-043 （のぞきこんで）さあ，わかりませんけど，穴の方は糸でかがってしまえばわからなくなると思いますよ.

客　C　-044 そうねえ，じゃあ，ちょっと洗濯屋さんに相談してみますね．-045 もし取れないようだったら，返品できます？

篠　塚　-046 ええ，このバザーの間でしたら，結構ですよ.

客　C　-047 あ，明日まででしたよね．-048 それじゃあ.

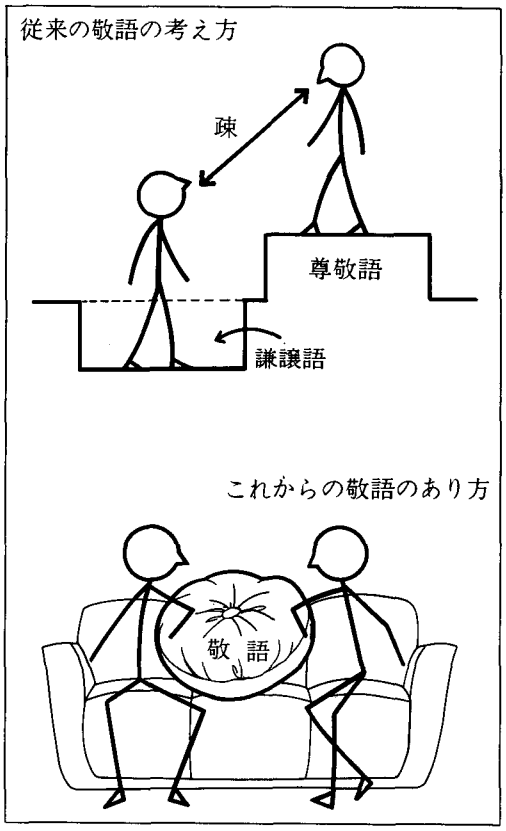
（客C，去る．篠塚，お辞儀をして送る）

【セグメント24　場面④】

10月29日（日）午後，シンポジウム会場．

（壇上の司会席に笹原，発表者席に石川と井上．中央で野沢，発題をしている）

野　沢　-049 （ＯＨＰでスクリーンにモデル図を映しながら）いわゆる敬語とか待遇表現と言われているものは，現代の社会にはもう要らないものだとか，面倒なだけだとか，否定的な評価がされることも多いわけですが，まだまだ，日本の社会ではこの敬語をすっかり捨て去ってしまうということはむずかしい．　-050 例えば，隣に越してきた人と，その日からすぐ，まったく敬語を使わずに話すというのは，やはりこう落ち着かない．　-051 ある程度距離をおかないと，ま日本人の習性に反するだろうと思いますね．（ＯＨＰのシートを取りかえる）　-052 やはりこうした新興住宅地のような，毎日新しい人間関係を作っていかなければならない地域では，だれもが不愉快を感じないような，それでいてあまり面倒も感じないで，使える，そういった敬語のシステムが発達してくるといいと思うわけです．



笹　原　-053 ありがとうございました．-054 言語学のお立場から，新しく形づくられる人間関係についてお話しいただきましたが，この敬語ということについて，他の先生方から，ご発言がございますでしょうか．

（石川，手をあげる）

笹　原　-055 あ，はい，石川先生．

石　川　-056 どうもこの，敬語という，なんていうか，こう人を区別してですね，態度をころころ変えるっていうのは，そろそろですね．-057 だいたい国語の先生方ってのは現状肯定っていうんですか，現に今使ってるからそれでいいというようなことになるんだろうけれども，一度これは全部やめにしてですね，本当になくちゃいけないのか考える．-058 だいたい大学を出た人間がまともに使えないなんてややこしい言葉づかいが残ってるのは，こら社会全体から見たら大変な浪費じゃないですかねえ．

井　上　-059 （笹原に）よろしいですか．

笹　原　-060 どうぞ．

井　上　-061 石川先生のおっしゃるような敬語廃止論がいいかどうかというのはちょっと置いておきましてですね，ひとつこういうことがあるんですね．

-062 それは，デパートとかそういった接客業の人たちのことばが，最近非常に丁寧になってきてて，敬語が過剰じゃないか，過剰敬語などと言われる現象があるわけです．

石　川　-063 インフレでしょ，敬語のね．

井　上　-064 そう．-065 お客に失礼だと思われる危険性が絶対ないようにってことで，どんどんエスカレートするわけで，だから一方で敬語が簡単になって，くだけたやりとりで済まそうって傾向があって，それをつきつめると，敬語廃止論．-066 ですけど，一方ではむしろやたらにおおげさなことばづかいが広まりつつあると．-067 いい悪いは別にして，これも現実なんですねえ．

笹　原　-068 やはり，日本人の意識から待遇表現というものを取り去るのはかなりむずかしいことのようでございますね．

野　沢　-069 うん．-070 ひとつにはやはり，場面による使い分けということを考えるべきだと思いますね．-071 どんな時にもただただバカ丁寧にしていればいいというものではない．-072 それからもうひとつ，さっき申したように，全体として簡潔にわかりやすくしていく努力が必要であると思います．

政府刊行物販売所一覧

政府刊行物のご注文は下記の政府刊行物サービス・センターおよび政府刊行物サービス・ステーション（官報販売所）をご利用下さい。

◉政府刊行物サービス・センター（大蔵省印刷局直営）

（名　称）	（郵便番号）	（所　在　地）	（電　話）
霞が関	100	東京都千代田区霞が関１－２－１（農林水産省別館前）	東京　03(3504)　3885
大手町	100	東京都千代田区大手町1－3－2（大手町合同庁舎第2号館内）	東京　03(3211)　7786
大阪	540	大阪市中央区大手前1丁目5番63号（大阪合同庁舎第３号館内）	大阪　06 (942)1681・1682
名古屋	460	名古屋市中区三の丸２－５－１（名古屋合同庁舎第２号館内）	名古屋　052 (951)9205・9341
福岡	812	福岡市博多区博多駅東２－11－１（福岡合同庁舎内）	福岡　092 (411)6201・6204
札幌	060	札幌市北区北八条西２－１－１（札幌第１合同庁舎内）	札幌　011 (709)2401・2402
広島	730	広島市中区上八丁堀６番30号（広島合同庁舎２号館内）	広島　082 (222)　6012(代)
仙台	980	仙台市青葉区本町３－２－23（仙台第２合同庁舎内）	仙台　022 (261)8320・8321
金沢	920	金沢市広坂２－２－60（金沢広坂合同庁舎）	金沢　0762　(23)7303・7304
沖縄	900	那覇市久米２－30－１（久米庁舎内）	沖縄　098 (866)7506・7508

◉政府刊行物サービス・ステーション（官報販売所）

（名　称）	（郵便番号）	（所　在　地）	（電　話）
札幌	060	札幌市中央区北二条西13丁目（エイケービル２階）	札幌　011 (231)　0975
青森	030	青森市本町２－７－16（今泉書店）	青森　0177　(76)　3611
盛岡	020	盛岡市南大通１－16－２	盛岡　0196　(22)　2984
仙台	980	仙台市青葉区宮町３－８－12	仙台　022　(222)　6486
秋田	010	秋田市大町２－２－２（石川書店）	秋田　0188　(62)　2129
山形	990	山形市本町２－４－11（八文字屋）	山形　0236　(22)　2150
福島	960	福島市大町７－20（福島西沢書店）	福島　0245　(22)　0161～2
水戸	310	水戸市宮町２－２－31（川又書店）	水戸　0292　(31)　0102
宇都宮	320	宇都宮市馬場通り２－１－６（有・うちやま）	宇都宮　0286　(33)4094・3533
前橋	371	前橋市本町１－３－４（煥乎堂）	前橋　0272　(23)　1211
浦和	336	浦和市高砂１－３－４（岩淵書店）	浦和　048　(822)　7633
千葉	280	千葉市亥鼻１－４－４	千葉　0472　(22)　7635
横浜	231	横浜市中区相生町４－74（横浜日経社）	横浜　045　(681)　2661～3
東京	101	東京都千代田区神田錦町１－２	東京　03(3292)　2671
渋谷	150	東京都渋谷区神南１－22－４（大盛堂書店内）	東京　03(3463)　7555
池袋	171	東京都豊島区西池袋１－17－７（芳林堂書店内）	東京　03(3984)　1101
立川	190	立川市曙町２－１－１（立川ターミナルビル７Ｆ オリオン書房ウィル店）	立川　0425　(27)　2311
新潟	950	新潟市東大通１－５－24（教科書ビル内）	新潟　025 (244)　5297
富山	939	富山市大泉東町１－３－７	富山　0764　(21)　1340
金沢	920	金沢市片町２－１－７（株・うつのみや）	金沢　0762　(64)　2288
福井	910	福井市順化１－１－19（品川書店）	福井　0776　(24)　0112
甲府	400	甲府市中央４－２－18（柳正堂書店）	甲府　0552　(35)　2201
長野	380	長野市大門町66－１（長野西沢書店）	長野　0262　(33)　3187
岐阜	500	岐阜市泉町５（郁文堂書店）	岐阜　0582　(62)　9897
静岡	420	静岡市追手町10－121（新中町ビル１階）	静岡　054 (253)　2661
名古屋	460	名古屋市中区栄３－27－30	名古屋　052 (264)　9155
名古屋駅前	450	名古屋市中村区名駅３－25－５	名古屋　052 (561)　3578
豊橋	440	豊橋市呉服町40（豊川堂内）	豊橋　0532　(54)　6688
津	514	津市中央12－12	津　0592　(28)　4812
大津	520	大津市中央１－５－２（沢五車堂書店）	大津　0775　(24)　2683
京都	604	京都市中京区河原町六角下ル東入	京都　075 (221)　4444
大阪	550	大阪市西区江戸堀１－２－14（肥後橋前）	大阪　06 (443)　2171
大阪満	530	大阪市北区天満２－３－２（天満橋北詰）	大阪　06 (352)　3361(代)
神戸	650	神戸市中央区北長狭通５－４－３	神戸　078 (341)　0637
奈良	630	奈良市角振町１（南都書林）	奈良　0742　(23)　6369
和歌山	640	和歌山市本町１－７（宮井平安堂）	和歌山　0734　(31)　1331
鳥取	680	鳥取市末広温泉町164（富士書店）	鳥取　0857　(23)　7271
松江	690	松江市殿町63（今井書店）	松江　0852　(24)　2230
岡山	700	岡山市駅前町１丁目地下街区３号（山田書房）	岡山　0862　(23)　7048
広島	730	広島市中区国泰寺町２－２－17	広島　082 (242)　4680
山口	753	山口市道場門前１－３－11（文栄堂）	山口　0839　(22)　5611
徳島	770	徳島市一番町３－22（小山助学館）	徳島　0886　(54)　2135(代)
高松	760	高松市番町１－９－16	高松　0878　(51)6055・6056
松山	790	松山市三番町４－６－13	松山　0899　(41)　7879
高知	780	高知市本町５－２－21	高知　0888　(72)　5866
福岡	810	福岡市中央区天神４－５－10（地産マンション１階）	福岡　092 (721)　4846
福岡県庁内	812	福岡市博多区東公園７－７（福岡県庁内）	福岡　092 (641)　7838
福岡市役所内	810	福岡市中央区天神１－８－１（福岡市役所内）	福岡　092 (722)　4861
北九州	803	北九州市小倉北区城内１－１（北九州市役所内）	北九州　093 (582)　4124
佐賀	840	佐賀市白山１－２－18	佐賀　0952　(23)　3722
長崎	850	長崎市出島町５－15（税関前）	長崎　0958　(22)　1413
熊本	860	熊本市新町４－１－19（長崎次郎書店）	熊本　096 (352)　5069
大分	870	大分市中春日町５－22（春日歩道橋南）	大分　0975　(32)　4308
宮崎	880	宮崎市橘通東３－６－19（田中書店）	宮崎　0985　(24)　0386
鹿児島	892	鹿児島市中町12－７（西本願寺前）	鹿児島　0992　(24)　0141
那覇	900	那覇市久茂地１－12－１（文教図書）	那覇　098 (863)　5288

日本語教育映像教材　中級編　関連教材

伝えあうことば

1　シナリオ集

平成３年３月15日　発行

定価 1,000円
（本体971円・税29円）

著作権所有　　国立国語研究所

発　　行　　大蔵省印刷局
〒105
東京都港区虎ノ門２－２－４
電話（03）3587－４２８３～９
（業務部図書課ダイヤルイン）

落丁、乱丁本はおとりかえします。

ISBN4-17-311352-8



大蔵省印刷局発行　定価1,000円(本体971円・税29円)

ISBN4-17-311352-8 C0081 P1000E